

令和5年度 第5回 理事会議事録

日 時： 令和5年 12月23日（土）14：00 ～ 17：00

場 所： 麻生リハビリテーション大学校

出席者 理事：（三役） 廣滋 恵一、松崎 哲治、諫武 稔、遠藤 正英、近藤 直樹
（理事） 佐藤 憲明、田代 耕一、久保田勝徳、善明 雄太、岡本 伸弘、
脇坂 成重、吉田 大地、平田 大勝、沖原 優子、齊藤 貴文、
岩佐 聖彦、安 勇喜、村上 武士、永野 忍、後藤 圭、
志田啓太郎

監事： 日野 敏明、田中 裕二、泉 清徳

欠席者 理事：（三役） 西浦 健蔵
（理事） 今村 純平、佐々木圭太、中村 雅隆

監事： 一

選挙管理委員会：一

事務局出席：中山 祥子、永友沙也佳、笹栗 淳子

書記：森 輝、山坂 誠一

【議長選出】

会長が欠席のため、本会定款第31条2項に則り、廣滋恵一副会長が全会一致で選出された。

【議事録署名について】

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第95条3項に則り、出席理事及び監事の記名押印について確認がなされた。

審議事項	(事業・会議別)	(事業分類)	(提出部局等)
1. 令和6年度予算案について	事業	法人	西浦会長
2. 来年度ブロック制における事業移管等について	事業	公益1 公益2 公益3	松崎副会長
3. 理学療法士養成校学生の出務について	事業	法人	遠藤副会長
4. 広報媒体の電子化について	事業	公益2	組織部
5. アンケート調査の実施について	事業	法人	財務部
6. 第34回福岡県理学療法士学会の学会長について	事業	公益1	学会部
7. 臨床理学療法研修会の開催企画案について	事業	公益1	教育研修部
8. 新人オリエンテーション 新規入会ノベルティ手渡し	事業	法人	北九州支部
9. 新人オリエンテーション参加者への記念品（北九州支部限定クオカード）進呈について	事業	法人	北九州支部
10. 北九州支部限定 会員モニター募集	事業	法人	北九州支部
11. 講師選定方法の追加	事業	公益1	北九州支部
12. 新人オリエンテーションについて	事業	法人	福岡支部
13. 日本理学療法士協会 協会賞および名誉会員推薦について	事業	法人	表彰委員会 委員長

報告事項	(事業・会議別)	(事業分類)	(提出部局等)
1. 会長活動報告	事業	法人	西浦会長
2. 廣滋副会長活動報告	事業	法人	廣滋副会長
3. 松崎副会長活動報告 1	事業	法人	松崎副会長
4. 松崎副会長活動報告 2	事業	法人	松崎副会長
5. 諫武副会長活動報告	事業	法人	諫武副会長
6. 遠藤副会長活動報告	事業	法人	遠藤副会長
7. 士会承認症例報告会・士会承認研修会報告	事業	公益 1	近藤専務理事
8. 後援名義一覧	事業	法人	近藤専務理事
9. 専務理事活動報告 1	事業	法人	近藤専務理事
10. 専務理事活動報告 2	事業	法人	近藤専務理事
11. 総務局会議報告 1	会議	法人	総務局
12. 総務局会議報告 2	会議	法人	総務局
13. 総務局会議報告 3	会議	法人	総務局
14. 三役会議報告	会議	法人	総務局
15. 総務部（総務）会議報告	会議	法人	総務部(総務)
16. 総務部（災害対策）会議報告 1	会議	公益 1	総務部 (災害対策)
17. 総務部（災害対策）会議報告 2	会議	公益 1	総務部 (災害対策)
18. 総務部（災害対策）会議報告 3	会議	法人	総務部 (災害対策)
19. 組織部会議報告	会議	公益 2	組織部
20. 公式アプリおよび公式 LINE 登録者数について	事業	公益 2	組織部
21. 財務部会議報告	会議	法人	財務部
22. 学術局会議報告	会議	公益 1	学術局
23. 学会部会議報告 1	会議	公益 1	学会部
24. 学会部会議報告 2	会議	公益 1	学会部
25. 学術研修部会議報告 1	会議	公益 1	学術研修部
26. 学術研修部会議報告 2	会議	公益 1	学術研修部

27.	学術研修部会議報告 3	会議	公益 1	学術研修部
28.	教育研修部会議	会議	公益 1	教育研修部
29.	新人研修会	事業	公益 1	教育研修部
30.	臨床実習指導者フォローアップセミナー	事業	公益 1	教育研修部
31.	臨床実習指導者指導者講習会	事業	公益 1	教育研修部
32.	職能部会議報告	会議	公益 3	職能部
33.	令和 5 年度 福岡県パラスポーツタレント発掘・育成事業 フクオカ・パラスター・プロジェクト (F-STAR)	事業	公益 3	公益事業推進部
34.	第 153 回九州地区高等学校野球福岡県大会 1	事業	公益 3	公益事業推進部
35.	第 153 回九州地区高等学校野球福岡県大会 2	事業	公益 3	公益事業推進部
36.	第 153 回九州地区高等学校野球福岡県大会 3	事業	公益 3	公益事業推進部
37.	第 153 回九州地区高等学校野球福岡県大会 4	事業	公益 3	公益事業推進部
38.	第 153 回九州地区高等学校野球福岡県大会 5	事業	公益 3	公益事業推進部
39.	第 40 回飯塚国際車いすテニス大会	事業	公益 3	公益事業推進部
40.	第 22 回健康 21 世紀福岡県大会	事業	公益 2	公益事業推進部
41.	公益事業推進部会議報告	会議	公益 2	公益事業推進部
42.	地域包括ケア推進局会議報告 1	会議	法人	地域包括ケア推進局
43.	福岡県介護予防推進リーダー導入研修会	事業	公益 1	地域包括ケア推進局
44.	福岡県地域ケア会議推進リーダー導入研修会	事業	公益 1	地域包括ケア推進局
45.	地域包括ケア推進局会議報告 2	会議	公益 3	地域包括ケア推進局
46.	地域包括ケア推進局会議報告 3	会議	公益 3	地域包括ケア推進局
47.	地域包括ケア推進局会議報告 4	会議	公益 3	地域包括ケア推進局
48.	北九州支部会議報告	会議	法人	北九州支部
49.	社会職能担当活動報告	事業	公益 2	北九州支部
50.	北九州 1 地区活動報告	事業	公益 2	北九州支部
51.	北九州 2 地区活動報告 1	事業	公益 2	北九州支部
52.	北九州 2 地区活動報告 2	事業	公益 2	北九州支部

53.	筑豊地区活動報告	事業	公益 2	北九州支部
54.	北九州 1 地区研修会	事業	公益 1	北九州支部
55.	北九州 2 地区症例検討会 1	事業	公益 1	北九州支部
56.	北九州 2 地区症例検討会 2	事業	公益 1	北九州支部
57.	体力測定会 1	事業	公益 2	福岡支部
58.	体力測定会 2	事業	公益 2	福岡支部
59.	管理者研修会(マネジメント研修会)1	事業	公益 1	福岡支部
60.	管理者研修会(マネジメント研修会)2	事業	公益 1	福岡支部
61.	福岡支部研修会 1	事業	公益 1	福岡支部
62.	福岡支部研修会 2	事業	公益 1	福岡支部
63.	令和 6 年度 福岡ブロック保健福祉 新規事業 計画 (案) について	事業	公益 2	福岡支部
64.	筑後 2 地区研修会	会議	公益 1	筑後支部
65.	筑後支部会議報告	事業	公益 1	筑後支部
66.	筑後 2 地区会議報告	会議	公益 1 公益 2	筑後支部
67.	筑後 2 地区啓発事業	事業	公益 2	筑後支部
68.	表彰委員会会議報告	会議	法人	表彰委員会
69.	選挙管理委員会会議報告	会議	法人	選挙管理委員
70.	JPTA 代議員選挙について	事業	法人	選挙管理委員

依頼事項

	(事業・会議別)	(事業分類)	(提出部局等)
1.	イベント管理システムの運用について	事業	法人 組織部
2.	福岡県理学療法士会功労賞および感謝状該当者 選出について	事業	法人 表彰委員会
3.	保健文化賞および飯田賞受賞者選出について	事業	法人 表彰委員会

【理事会】 【審議】

事業分類	法人		
提出者	西浦 健蔵	職	会長
議題	令和 6 年度予算案について		
内容及び 提出主旨	令和 6 年度の予算案について、ご審議お願いいたします。 添付資料：有 審議_会長_1		
主な 意見内容等	令和 6 年度との比較表を提示していただきたい。 ・次回理事会にて提示する。		
結果	全会一致で承認 終了		

【理事会】 【審議】

事業分類	公益 1・公益 2・公益 3		
提出者	松崎 哲治	職	副会長
議題	来年度ブロック制における事業移管等について		
内容及び提出主旨	<p>来年度ブロック制になるにあたり、現在の各局のブロック制（地域性）が高いものを、来年度からブロックに事業移管をしたい</p> <p>添付資料：無</p>		
主な意見内容等	<p>* 地域包括ケア推進局や社会局の予算としているが、ブロック制に移行するうえで変更点などはないか。→すでにブロック制への移行する作業を進めており、予算に変更は生じない予定である。</p> <p>* 現在の予算の範囲でということに変わりはないか。→そのとおりである。</p> <p>* 地域包括ケア推進局の介護保険事業について、今後の方向性として縮小や拡大などどのように変化すると考えているのか。→活動内容の重要性や推進リーダー取得者の活躍の場として期待している事業もあり、今後ブロック制に移行しても継続したい考えである。</p>		
結果	<p>全会一致で承認</p> <p>終了</p>		

【理事会】 【審議】

事業分類	法人		
提出者	遠藤正英	職	副会長
議題	理学療法士養成校学生の出務について		
内容及び 提出主旨	<p>県士会事業における学生の出務を行うことで早期から県士会事業に興味を持つことで入会の促進、事業に対して人員が不足する場合の解決などにつながると考える。その際に明確な要件がないため以下のようにしてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県士会事業における学生の出務については各事業責任者の判断において出務依頼を行う。 ・出務者の人数に関しては各事業責任者の判断に委ねるが予算を超えないように留意する。 ・学生の出務に関しては可否の判断が養成校によって異なるため各事業責任者が養成校に問い合わせる。 ・出務費に関しては規定通り（対面は交通費の規定）とするが、養成校によって支給の可否の判断が異なる可能性もあるため各事業責任者が養成校に問い合わせる。 <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	なし		
結果	<p>全会一致で承認</p> <p>終了</p>		

【理事会】 【審議】

事業分類	公益 2		
提出者	佐々木圭太	職	組織部理事
議題	広報媒体の電子化について		
内容及び提出主旨	<p>組織部では現在、会員向けに紙媒体で展開している広報手段の見直しを行っています。会員にとって情報へのアクセスが容易になるよう、また物価上昇に伴うコスト増に対応できるよう、広報誌と FAX 通信の電子化の具体案を作成しました。一般の方向けの広報誌については紙媒体での広報を継続予定です。ご審議のほどよろしくお願いたします。</p> <p>添付資料：有（審議_組織部_1-3）</p>		
主な意見内容等	<p>*以前、学術研修集会に参加した人に研修会の情報をどのように得ているかという旨のアンケートを実施した。その際、学会を知るきっかけとして FAX 通信が 1 位であった。FAX 通信をやめることで研修会への参加が減少することが懸念されるのではないかと。→会員それぞれにメールで届くため、より情報を届けやすくなるものと考えている。</p> <p>*会員のメールアドレスはどのように収集するのか。→日本理学療法士協会の会員管理に登録されているメールアドレスを使用する予定である。</p> <p>*登録しているメールアドレスが機能しない可能性があるのではないかと。→送信したメールが届かないケースは減少傾向にある。届かなかったものについては、SMS や SNS などを利用して県士会事務所に連絡するよう促している。</p> <p>*メールの配信代行業者について、1 社で検討しているが合い見積もりのうえ決定してはどうか。→合い見積もりを行う方向で検討する。</p> <p>*メール離れも懸念されるので今後は SNS での発信なども検討してほしい。→承知した。</p>		
結果	<p>広報媒体を電子化することについては全会一致で承認 次回の理事会で業者選定の審議を行う。</p> <p>終了</p>		

広報媒体の電子化について

現状の課題

- ・ 広報誌への会員のアクセスに紙媒体では限界がある
- ・ 施設によっては FAX 通信の回覧が機能していない
- ・ 自宅会員が FAX 通信の情報に触れられない
- ・ 一般向けの発行部数が 1,200 部で、配布施設が限定的である
- ・ 会員への広報誌送付費用、FAX 配信費用の財務負担が大きい（現状、事務局予算より支出している）

電子化案の概要

- ・ 紙媒体の会員向け広報誌と FAX 通信を廃し、電子化したものを会員へメール配信する
- ・ メール配信は、事務局を通じ、配信代行業者（チームスタックカート）に依頼する
- ・ 広報誌と FAX 通信の HP への掲載は継続し、加えてフクオカイーブックス（地域特化型電子書籍ポータルサイト；無料）への掲載も開始する
- ・ 一般向けの広報誌はひきつづき紙媒体で製作することとし、電子化で削減した予算の一部を、一般向けの紙媒体増刷に充てる
- ・ 運用は令和 6 年 4 月からとする

なお、協会アプリにもお知らせ機能が追加されているが、以下の理由により運用はあまり現実的でないと思われる

アプリユーザー数が限定的（ただし、詳細は士会では把握できず不明）であること

プッシュ通知がされるかどうかは各端末の設定によること

配信内容案

配信コンテンツ	内容	文面作成者	対象属性	配信時期
広報誌	広報誌ぴしゃっと！pdf	広報部	在会会員（全県）	9 月、2 月
FAX 通信（要・名称変更）	その月のトピックス一覧	広報部より各部局へ依頼	在会会員（全県）	毎月
休会者への復会促し		総務部もしくは広報部	休会会員（全県）	2 月ごろ
その他のお知らせや、これまで広報誌に同封していたチラシ類	適宜	必要に応じ担当部局で作成し、広報部でチェック	適宜	適宜

メール文面案

別紙（審議_組織部_2）参照

メール配信の流れ

- 1 広報部でメール文面を準備し、配信対象、配信日時を決定
- 2 上記を事務局へ伝達
- 3 事務局にて配信対象の最新アドレスを会員管理システムから抽出
- 4 事務所からチームスタックカートに依頼

予算に関して

- ・ 広報誌製作費をおよそ 50 万円／年削減可能（R5 年度予算およそ 120 万円に対し、2000 部製作とした場合の R6 年度予算はおよそ 70 万円）
- ・ 広報誌配送費およそ 200 万円／年、FAX 配信費およそ 60 万円／年を削減可能
- ・ メール配信にかかる初期費用は不要。運用費用は 5000 円／通で、年間 15~20 通前後を想定



公益社団法人 福岡県理学療法士会

Mail 通信 11 月号

〇〇 〇〇 様

※ 本メールは、協会マイページに登録されているアドレス宛に BCC でお送りしています ※

平素より、福岡県理学療法士会に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
広報担当の佐々木と申します。以下について情報共有させていただきます。

◆◆ TOPICS ◆◆

臨床実習指導者フォローアップセミナー【115012】 当日参加受付可能です

テーマ: 学生の能力を最大限に引き出し、自発的な学習へと導く

日時: 令和5年11月18日(土)9:00~12:00

方法: 対面開催(リファレンス博多駅東) 講師: 小林 賢 氏(慶應義塾大学病院)

備考: 履修ポイント付与はありませんが当日の参加受付も可能です。

<https://fukuoka-pt.jp/workshop/001732.php>

北九州支部企画 マネジメント研修会(協会指定管理者研修会)

本研修会で協会指定管理者(初級)を取得可能です(取得希望の方は、研修会参加申込事前登録が必要です)

初級を取得していても、また管理職に従事してなくても参加できます。

筑豊地区【118288】 令和5年12月14日(木)19:00~21:00(飯塚病院)

北九州1地区【118289】 12月21日(木)19:00~21:00(九州医療スポーツ専門学校)

<https://fukuoka-pt.jp/workshop/001811.php>

令和6年度代議員選挙 告示と要綱を掲載しました

立候補受付期間は令和5年11月23日(木)正午~12月15日(金)正午です。

ご不明な点は選挙管理委員会までお問合せください。 pt.senkan.f@gmail.com

<https://fukuoka-pt.jp/information/001857.php>

お待たせしました! 「ぴしゃっと! スマイル!」フォトコンテスト 開催中です📷

福岡県理学療法士会では現在フォトコンテストを開催中です。テーマは理学療法士の活動にまつわる

笑顔あふれる写真! 受賞作品はHPや広報誌への表紙掲載と、金一封と景品を進呈します。

応募期限は令和6年1月29日(月)です。

<https://fukuoka-pt.jp/information/001829.php>

ご不明点やご質問があればお問い合わせください。
引き続き福岡県理学療法士会をよろしくお願いいたします。

公益社団法人 福岡県理学療法士会
事務局管理部広報担当理事 佐々木圭太

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東 2-8-26 第3 白水駅東ビル 305 号

TEL:

FAX:

Email:

福岡県理学療法士会の最新情報はこちら

[公式 HP](#)

[公式アプリ](#)

[公式 LINE](#)

[日本理学療法士協会](#)

[協会マイページ](#)

【理事会】 【審議】

事業分類	法人		
提出者	田代耕一	職	財務部理事
議題	アンケート調査の実施について		
内容及び提出主旨	<p>会員の皆様から徴収した年会費を主な活動費としている以上、会員の皆様へ分かりやすく情報提供していく必要があると考えます。しかし、どのような情報を提供することで、皆様にとって有益となるのか分かりかねます。そこで、アンケート調査を実施し、会員の皆様が「どのような情報を有益と感じるのか」「どのようなことを知りたいのか」について情報収集を行いたいと考えております。</p> <p>まず、Google フォームでアンケートを作成し、QR コード化した上でFAX 通信、ホームページ、SNS を利用し調査協力依頼をかけます。その後、約 1 ヶ月間の期間で収集し分析した上で、ピシャッと等の広報誌より情報提供をしていこうと考えています。</p> <p>https://forms.gle/PM9F5V3UbuBaYf2F9</p> <p>添付資料：無</p>		
主な意見内容等	<p>*性別は必須にしない方がよい。複数回答可の項目はその旨を明記した方がよい。→承知した。</p> <p>*理想とする年会費の項目については、個人で価値観が違うが項目として設けるのか。→再度検討する。</p> <p>*公益事業としてどのような活動を行っているか、またそれにどの程度予算が必要であるかについて理解を得ることが重要ではないか。→最終的にはそのような提示ができるよう進めていきたい。</p> <p>*来年度より、ブロック制に移行するのでブロックの総務担当理事と一緒に進む方がよいのではないのか。→実施時期やアンケート内容については検討する。</p>		
結果	<p>審議取り下げ。</p> <p>主管が財務部となるか各ブロックとなるかについては、内容によるため検討を進めながら必要に応じて再度審議とする。</p> <p>終了</p>		

【理事会】 【審議】

事業分類	公益 1		
提出者	久保田 勝徳	職	学会部理事
議題	第 34 回福岡県理学療法士学会の学会長について		
内容及び 提出主旨	第 33 回福岡県理学療法士学会の学会長を公募した結果、立候補がいなかったため、6 名の推薦者についてご審議いただきたい。 添付資料：無		
主な 意見内容等	なし		
結果	全会一致で承認 終了		

【理事会】 【審議】

事業分類	公益 1		
提出者	岡本 伸弘	職	教育研修部理事
議題	臨床理学療法研修会の開催企画案について		
内容及び提出主旨	研修会：令和 5 年度 臨床理学療法研修会 日 時：2024 年 2 月 17 日（土）14 時 30 分～16 時 30 分 場 所：麻生リハビリテーション大学校 方 法：対面開催 テーマ：股関節疾患について（仮） 講 師：谷口 侑紀 氏（久留米大学医療センター） 添付資料：無		
主な意見内容等	なし		
結果	全会一致で承認 終了		

【理事会】 【審議】

事業分類	法人		
提出者	永野忍	職	北九州支部理事
議題	新人オリエンテーション 新規入会ノベルティ手渡し		
内容及び提出主旨	<p>新規入会者（新人・新人以外中途入会者）へ県士会にて作成したノベルティを郵送している。そのノベルティを新人オリエンテーション参加且つ当日入会手続き完了の新人へ、当日参加する地区部長や運営委員など若手会員より手渡ししたいため審議をお願いします。</p> <p>北九州支部新規入会者数（新人・新人以外中途入会者含む）の推移を見ると令和元年度（新型コロナウイルス感染拡大前）178名に比較し、その後は100名強と新規入会者数の低迷が継続している。新規入会者の概ねは新人理学療法士であり、新人オリエンテーションは新規入会者数の増加に効果的な機会であると考えられる。そこで、新人オリエンテーションへの参加者数の増加を目的に、新人オリエンテーションに参加且つ入会手続きを完了した参加者へ、現在新規入会者へ郵送しているノベルティを地区部長や運営委員など若手会員より新人へ手渡ししたい。</p> <p>付帯効果として、北九州支部の追加予算計上はなく、事務所から新規入会者への郵送費（1個200円～220円×110：令和5年度北九州支部新規会員実績）の削減にもなる。</p> <p>添付資料：有（添付資料名：審議_北九州支部_1）</p>		
主な意見内容等	<ul style="list-style-type: none"> * ノベルティの贈呈は県士会として実施しているので、支部ごとに異なるのはどうなのか。また、入金まで完了して贈呈することになっているので、新人オリエンテーション時に渡すことはこれまでの方針に沿っていないのではないかと。 * 手渡しすることでどのような効果を期待しているのか。→新規入会促進にあたり新人オリエンテーションへの参加人数を如何にして増やすかを最重要と考えており、運営側との距離感を近づけて、入会を促進させる意味合いがあると考えている。 * ノベルティは新卒新人会員に贈呈されるものであるが既卒者にも贈呈されているのではないかと。 →新卒者にしか配布はしていない。 * 新人オリエンテーションで配布が完了しているかどうかを事務所で確認し、事務所から入会手続き完了者（郵送対象者）を抽出するのは業務上大変である。 * 手渡しをするのであればブロックで統一した方がよい。 		
結果	審議取り下げ。		
	終了		

北九州支部入会者数推移（11/2現在）

	総新入会員数	北九州支部	北九州1地区	北九州2地区	筑豊地区	備考
令和元年度	516	178	83	53	42	11/2現在情報、6/516名県外へ
令和2年度	342	114	55	37	22	30/342名県外へ
令和3年度	307	105	41	35	29	3/307名県外へ
令和4年度	342	123	53	35	35	4/342名県外へ
令和5年度	329	110	46	43	21	1/329名県外へ※令和5年10月27日現在

【理事会】 【審議】

事業分類	法人		
提出者	永野忍	職	北九州支部理事
議題	新人オリエンテーション参加者への記念品（北九州支部限定クオカード）進呈について		
内容及び提出主旨	<p>新人オリエンテーション参加した新人理学療法士に記念品として北九州支部限定クオカードを進呈したいため審議をお願いします。</p> <p>北九州支部新規入会者数（新人・新人以外中途入会含む）の推移を見ると令和元年度（新型コロナウイルス感染拡大前）178名に比較し、その後は100名強と新規入会者数の低迷が継続している。新規入会者の概ねは新人理学療法士であり、新人オリエンテーションは新規入会者数の増加に効果的な機会であると考えられる。そこで、新人オリエンテーションへの参加者数の増加を目的に、新人オリエンテーションに参加且つ入会手続きを完了した参加者へ記念品として北九州支部限定クオカードを進呈したい。</p> <p>クオカードは、カード盤面に会社のロゴマークやメッセージ、イラストなどを自由にプリントでき、記念品となりやすく、また転売予防策としてもメリットがある。北九州支部では会場を養成校を使用するため予算の削減が見込まれていることから、クオカードの費用捻出が可能であり、また事前に新人オリエンテーション参加者数の確認を今年度から行うため、余剰のクオカード作成は抑止する。（過去の北九州支部入会実績と増加を見越し150枚にて見積もり作成）</p> <p>添付資料：有（添付資料名：審議_北九州支部_2）</p>		
主な意見内容等	<p>参加者全員ではなく入会手続き（会費入金以外の手続き）が完了した者と考えると良いのか。</p> <p>→その通りである。</p>		
結果	<p>全会一致で承認</p> <p>終了</p>		

お見積書



楽刷太郎様

発行日:2023年12月04日

ラクスル株式会社



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F

Tel : 03-6625-4930 Mail : contact@raksul.com

商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
QUOカード オリジナルギフトカード 額面:500円, 封入オプション:封筒タイプ (封入無し), 印刷方法:フルカラー印刷 (インクジェット・オフセット)	100 枚	2023年12月12日 (火)	¥86,600

「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文合計	¥86,600
消費税	¥0
ご請求合計金額	¥86,600

お客様へ (必ずご確認ください)

- NP請求書払いをご選択いただいた場合は別途300円が必要となります。
- キャンペーン対象商品についてはキャンペーンが終了し次第、通常価格での販売となります。その際には本見積書をご利用にはなりませんのでご注意ください。
- 見積書の有効期限は発行日より1ヶ月です。
- 本書面についてご不明点などございましたらお問い合わせフォーム (<https://novelty.raksul.com/contact>) からご連絡ください。
- 販売停止した商品は本見積書に仕様が記載されていてもご注文いただけません。
- 見積書の発行日は発行時点の日付となります。過去の日付、未来の日付に変更できませんのでご注意ください。

【理事会】 【審議】

事業分類	法人		
提出者	永野忍	職	北九州支部理事
議題	北九州支部限定 会員モニター募集		
内容及び 提出主旨	<p>令和 6 年度事業会員アンケートに先駆け、令和 5 年度に北九州支部会員のモニター登録を実施したいため審議をお願いします。</p> <p>会員モニター登録を行う事で、アンケートの回収率を増加させることができる上に、会員自身の北九州支部事業への関心意識を高めることができる。</p> <p>なお、アンケート調査の年 4 回の回答者への謝礼については、令和 6 年度の予算案に計上済である。</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	なし		
結果	<p>全会一致で承認</p> <p>終了</p>		

【理事会】 【審議】

事業分類	公益 1		
提出者	後藤 圭	職	北九州支部理事
議題	講師選定方法の追加		
内容及び提出主旨	<p>研修会の講師は運営員による依頼にて講師選定を行っています。しかし認定、専門取得者の活躍の場所がない、講師のマンネリ化等が講師選定の際に問題視されています。そのため有志、認定・専門有資格者活躍の場所提供を目的に公募制による講師選定の審議をお願い致します。</p> <p>対象を北九州支部に在住の会員で登録理学療法士を取得済みの者とします。県士会の HP に応募要項を掲載させていただき必要事項を記入、抄録を作成して支部学術部長にメールしていただきます。</p> <p>抄録は演題につき 3 名(後藤、学術部長 2 名)の査読委員により査読し、その平均点および中央値を参考に最終評価します。演題の採否については、その結果に基づいて、50/100 点以上のものを採択します。</p> <p>抄録はタイトルを記載し、キーワードを 3 つ設定、文字数は全角 1000 字以内、図表は 1 つ 200 字でカウントいたします。</p> <p>添付資料：有 (添付資料名：審議_北九州支部_6)</p>		
主な意見内容等	<ul style="list-style-type: none"> * 学術部としては応援したい。漏れた方でも学会の座長など活躍の場は提供できると考えている。 * 認定や専門を取得していない登録理学療法士にとってはハードルが高いのではないかと。→自己研鑽の意味合いも兼ねており、抄録査読の基準も提示している点でハードルが高くなりすぎないように配慮している。 * 講師として不慣れな方が採択された場合、フォロー等が必要となるのではないかと。→検討する。 * 何名を予定しているか。合格したのに採用されないと不満に繋がるのではないかと。人数の上限は決めておいた方が良く。→研修会の規模や頻度によって変動する可能性もある。事前に周知するなど対策は講じたい。 * 聴講者への配慮はあるのか。→採択された講師の講義のみ実施される訳ではなく、1 日研修の一部として考えている。著名な講師らと組み合わせることで聴講者からの不満がでないよう配慮するつもりである。 * 採択の基準を明確にしすぎると、合格点に達しているのに採択されないなどの不満が生じることや研修内容に偏りが生じる可能性がある。→基準の提示について再度検討する。 * 講師料金は支払う考えなのか。→支払う方向で考えている。 		
結果	<p>全会一致で承認 終了</p>		

募集要項

1.対象

対象：北九州支部に在住の会員で登録理学療法士を取得済みの者

2.必要事項

演者氏名：

施設名：

経験年数：

学術の実績(略歴)：

認定・専門の有無：

認定・専門の種類：

応募の趣旨：

講演タイトル：

3.募集期間

3/1-4/30

4.査読方法

演題につき 3 名の査読委員により査読し、その平均点および中央値を参考に最終評価します。なお、演題の採否については、その結果に基づいて、最終決定します。

抄録はタイトルを記載し、キーワードを 3 つ設定してください。

文字数は全角 1000 字以内、図表は 1 つ 200 字でカウントいたします。

採点は各項目 0-4 点とし合計 100 点満点といたします。

	採点項目	採点基準
1	演題名	講演目的や結論が端的に示されているか
2	キーワード	キーワードが適切であるか
3	はじめに、目的	講演の目的・目標が明確であるか
4		目的・目標が重要であるか、またその重要性が理解できる記載か
5	内容	講演の目的・目標に沿った内容が記載されているか
6		内容が抽象的でないか
7		自身の研鑽・活動実績が含まれている内容であるか
8		take home message は明確か
9	結論	結論が明確に記載されているか
10		結論は講演目的・目標に沿ったものであるか
11	文章	全体を通しての文章の全体的な出来栄
12		主語・述語の対応が取れているか
13		論理的な展開に飛躍や無理がないか

14		論理の順序が前後していないか
15		一般的でない語は説明がされているか
16		聴講者が理解しやすいような記載の配慮がなされているか
17	会員への還元	研修内容は臨床的 중요 性が高いものであるか
18		研修内容は教育的 重要性が高いものであるか
19		研修内容は学術的 重要性が高いものであるか
20		社会的ニーズの 高いものであるか
21	聴講対象	新人 PT に聴講させたい内容であるか
22		登録 PT に聴講させたい内容であるか
23		専門分野の認定・ 専門 PT に聴講させたい内容であるか
24		専門分野以外の 認定・専門 PT に聴講させたい内容であるか
25	抄録作成者について	将来性、今後の 発展が期待できるか

【理事会】 【審議】

事業分類	法人		
提出者	沖原 優子	職	福岡支部理事
議題	新人オリエンテーションについて		
内容及び提出主旨	<p>福岡県理学療法士会は入会率の低下、退会率の高い状況が続いている。協会の新入会促進検討部会のアンケート調査によると、新人オリエンテーションは入会促進のきっかけになる一つの事業となっている。</p> <p>そこで、新人オリエンテーションの参加者向上、入会への行動促進のため、ノベルティを準備したいと考える。</p> <p>予算に関しては、会場費が不要となるため、その分を充てたいと考える。</p> <p>ノベルティの準備、予算に関してご審議頂きたい。</p> <p>添付資料：無</p>		
主な意見内容等	<p>*配布基準が参加者となっているがどこまでを指しているのか。→所属地区は問わない。福岡県内の会員が対象である。</p> <p>*福岡ブロックのみでは不公平感がでるのではないか。→各ブロックで進め方が異なっても問題ないとする。良いものは他のブロックも取り入れれば良い。</p>		
結果	<p>全会一致で承認</p> <p>終了</p>		

【理事会】 【審議】

事業分類	法人		
提出者	諫武 稔	職	表彰委員会委員長
議題	日本理学療法士協会 協会賞および名誉会員推薦について		
内容及び提出主旨	<p>【日本理学療法士協会協会賞】 日本理学療法士協会協会より、協会賞受賞予定者リストについて提出を求められたため、表彰委員会として1～2名予定と回答している。 日本理学療法士協会の協会賞受賞要件に則り、福岡県士会受賞枠が確保できた場合（例年1月～2月頃確定）は、以下の会員を受賞者として推薦したい。</p> <p style="text-align: center;">日本理学療法士協会 協会賞推薦予定 松崎 哲治 氏（夫婦石病院） 富士本 隆文 氏</p> <p>【日本理学療法士協会名誉会員】 例年2月頃に日本理学療法士協会より名誉会員について推薦依頼が届いている。今年度も協会に確認したところ、同じスケジュールにて推薦依頼を予定しているとのことであった。そこで、福岡県士会として以下の会員を受賞者として推薦したい。</p> <p style="text-align: center;">日本理学療法士協会 名誉会員推薦予定 半田 一登 氏</p> <p>表彰委員会としては、推薦妥当と判断する。</p> <p>添付資料：有 審議_表彰委員会-2 2023年度 協会賞表彰要件 審議_表彰委員会-1 3-21-1 表彰規程 210606</p>		
主な意見内容等	なし		
結果	全会一致で承認 終了		

<2023年度 協会賞表彰要件>

共通要件	会員歴30年以上(休会期間を除く)、かつ55歳以上の者	
	役員歴12年以上	
	ア「協会活動中心の要件」	イ「士会活動中心の要件」
推薦パターン①	<ul style="list-style-type: none"> ・日本理学療法士協会の理事・監事、部長、委員長、小委員会委員長、分科学会・部門代表運営幹事を通算6年以上 ・前述6年以上の役員歴に加え部員、委員、小委員会委員、ワーキンググループ委員、運営幹事および代議員等役員名簿に掲載される役員(会員)として通算12年以上従事 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県理学療法士会の理事・監事・局長・部長・委員長として通算10年以上従事した者で、かつ、本会役員名簿に掲載される役員を2年以上従事した者 ※本会役員名簿に掲載される役員＝日本理学療法士協会の理事・監事、部長、委員長、小委員会委員長、分科学会・部門代表運営幹事ならびに部員、委員、小委員会委員、ワーキンググループ委員、運営幹事および代議員等役員名簿に掲載される役員(会員)
推薦パターン②	<ul style="list-style-type: none"> ・日本理学療法士協会の理事・監事、部長、委員長、小委員会委員長、分科学会・部門代表運営幹事を6年未満 ・前述6年未満の役員歴に加え部員、委員、小委員会委員、ワーキンググループ委員、運営幹事および代議員等役員名簿に掲載される役員(会員)として通算12年以上従事 	

※2023年度協会賞においては、2023年度中(2024年3月31日まで)に会員歴と年齢を満たしている会員が対象

※代議員は導入年に関わらず全て対象

公益社団法人日本理学療法士協会

表彰規程

(目的)

第1条 この規程は、定款第3条及び第4条により公益社団法人日本理学療法士協会（以下、「本会」という。）が実施する表彰に関する必要事項を定めることを目的とする。

(表彰の種類)

第2条 表彰の種類は、次の各号に定める4種とし、学術に関する表彰は別に取り扱う。

(1) 協会賞

協会賞は、会員歴30年以上（休会期間を除く）、かつ55歳以上の者で本会の活動、都道府県理学療法士会の活動において格段の功績のあった者で、次の要件のいずれかを満たすものを表彰する。

- ア 本会の理事・監事、部長、委員長、小委員会委員長、分科学会・部門代表運営幹事を通算6年以上か、前述の6年未満の役員歴に加え、部員、委員、小委員会委員、ワーキンググループ委員、運営幹事および代議員等本会役員名簿に掲載される役員として通算12年以上従事している者で、その職務において優れた功績をあげた者。但し、この場合において複数の併任があった場合については通算年数とはしない。
- イ 都道府県理学療法士会の理事・監事・局長・部長・委員長として通算10年以上従事した者で、かつ、本会役員名簿に掲載される役員を2年以上従事し、その職務において優れた功績をあげた者。但し、この場合において複数の併任があった場合について通算年数とはしない。

(2) 感謝状

本会に多大の貢献があった都道府県理学療法士会及びその他の団体、又は個人に対する表彰で、以下のいずれかを満たすものを表彰する。

- ア 人命救助等の散発的な貢献やボランティア等の社会活動（理学療法士としての専門的関わり）で格段の功績のあった者又は団体であって、長年（原則10年以上）にわたり、継続して善行を重ねたもので、次のいずれかにあたるもの。
 - (ア) 活動の成果が新聞等により、広告されたもの
 - (イ) 関連する公共団体等により、表彰を受けたもの
- イ 50年以上にわたり本会の会員（休会期間を除く）として後進の育成に尽力し、他の模範となるもの。
- ウ 学術大会（平成29年度まで）及び全国学術研修大会（平成30年度以降、日本理学療法学術研修大会へ名称変更）において、事業を都道府県理学療法士会の協力のもと開催し、開催都道府県民に対して広く理学療法の社会発信を実施した成果に対して、大会長および都道府県理学療法士会に贈る。

(3) 学業優秀賞

学科長又は専攻長の推薦に基づいて、学業優秀な当年度卒業生に対して行われる表彰。

(4) その他、理事会が必要と認めた表彰

(表彰の方法)

第3条 表彰は、表彰状を授与して行うものとする。この場合、前条に従って表彰の対象を本文に明記するものとする。

2 前項の表彰には、副賞を添えることができる。

(推薦上の留意点)

第4条 推薦を行うに際して、次の点に留意しなければならない。

(1) 現職者に限定することなく選考すること。

(2) 推薦しようとする場合には、従事した行動や業務の内容、功績の程度を具体的に記載した理由書を添付すること。

(3) 経歴、賞罰等は慎重にかつ詳細に調査すること。

(4) 物故後2年未満の会員については、この規程の対象とする。

(表彰委員会)

第5条 前3条の表彰者の選考及び被表彰者推薦を行うため、本会組織規則第6条により表彰委員会を置く。

2 表彰委員会は、組織規則第14条第2号に基づいて構成する。

3 委員の任期は、役員のそれに準ずる。但し、再任を妨げない。

4 表彰委員が都合によりその任を辞した時には、委員長は必要に応じて後任の委員を推薦し、会長の任命を受ける。

(手続き)

第6条 表彰者の推薦に関する手続きは、次の通りとする。

(1) 協会賞

ア 都道府県理学療法士会は、事前に推薦者数を表彰委員会に報告する。表彰委員会は、都道府県ごとの推薦者数の調整を行い、結果を都道府県理学療法士会へ速やかに伝える。

イ 都道府県理学療法士会は、指定された推薦者数の範囲内で被推薦者の内諾を取り、要件を満たす者を所定の様式により締切日（必着）までに表彰委員会に推薦する。

ウ 本会事務局は、表彰要件を満たしているにも関わらず、異動等により現所属都道府県理学療法士会の推薦を受けられない者等について、これを推薦することができる。この場合、表彰要件の確認は本会事務局の責務とする。

エ 表彰委員会は、都道府県理学療法士会から推薦された者の中から被表彰者の要件審査による選考を行い、理事会に推薦する。

オ 推薦の際の提出書類は、次の通りとする。

- ① 候補者推薦書
- ② 功績を判定するうえで参考となる資料

(2) 感謝状

都道府県理学療法士会長又は本会会長が次の書類を添えて表彰委員会に提出し、表彰委員会で審査の上、該当者を理事会へ推薦する。

- ① 推薦理由書
- ② 附属書類（必要に応じて）

(3) 学業優秀賞

ア 本賞は、養成施設の課程毎に、その在学期間を通じて学業に優れ、品行方正で他の模範となる卒業生1名に対して表彰するものとする。

イ 本賞の授与を受けようとするとき、学科長又は専攻長は別紙様式による申請書に該当者の学生指導要録の写しを添えて、本会事務局へ提出しなければならない。

ウ 授賞申請者の選考にあたっては、表彰委員会の審査を経て、理事会で決定する。但し、理事会での決議が日程上困難な場合は、これを常任理事会に負託するものとする。尚、申請者の提出書類及び選考経過等の公表は一切行わない。

(4) その他、理事会が必要と認めた表彰

手続きについては、前第2号アに準ずる。

- 2 表彰委員会は、必要に応じて調査を行う。
- 3 表彰委員会の選考結果を受けて、表彰者の決定を理事会が行う。
- 4 それぞれの表彰の方法や副賞などについては、表彰委員会の提案を受けて、理事会が決議する。

(改廃)

第7条 この規程の改廃にあたっては、理事会の決議を必要とする。

(附則)

- 1 この規程は昭和55年5月22日から施行する。
- 2 この規程は、平成26年11月1日一部修正により施行する。
- 3 この規程は、平成27年3月8日一部修正により施行する。
- 4 この規程は、平成27年6月12日一部修正により施行する。

(附則)

- 1 この規程は、平成29年6月5日から、表彰種目を変更して施行する。

(附則)

- 1 この規程は、この規程は、表彰委員会に関わる組織規則条番を改正し、令和3年6月6日から施行する。

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	西浦 健蔵	職	会長
議題	会長活動報告		
内容及び 提出主旨	<p>令和 5 年度 10～11 月までの活動等を報告するもの。</p> <p>【10 月】</p> <p>3 日：九州ブロック政策検討委員会</p> <p>8 日：組織運営協議会</p> <p>17 日：福岡 2 地区管理者研修会</p> <p>24 日：第 3 回福岡県理学療法士会 三役会議</p> <p>25 日：ダイハツと新事業について打ち合わせ</p> <p>28 日 福岡県理学療法士会理事会</p> <p>31 日：福岡東地区管理者研修会</p> <p>【11 月】</p> <p>1 日：福岡 1 地区管理者研修会</p> <p>15 日：第 4 回福岡県理学療法士会 三役会議</p> <p>21 日：第 2 回福岡県高齢者保健福祉計画策定会議</p> <p>24 日：日本理学療法士協会九州ブロック会第 2 回会長会議</p> <p>25 日：熊本県理学療法士協会 設立 50 周年記念式典・祝賀会</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	廣滋 恵一	職	副会長
議題	副会長活動報告		
内容及び 提出主旨	<p>令和 5 年 10 月～令和 5 年 11 月までの活動等を報告するもの</p> <p>【10 月】</p> <p>6 日 福岡県理学療法士会 学術局会議</p> <p>11 日 指導者講習会打合せ会議</p> <p>12 日 第 7 回北九州支部会議</p> <p>24 日 福岡県理学療法士会 三役会議 (web)</p> <p>【11 月】</p> <p>7 日 北九州 2 地区マネジメント研修会</p> <p>15 日 福岡県理学療法士会 三役会議 (web)</p> <p>19 日 公益社団法人福岡県社会福祉士会 創立 30 周年記念式典・祝賀会 出席</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	松崎 哲治	職	副会長
議題	副会長活動報告 1		
内容及び 提出主旨	<p>令和 5 年 10 月までの活動等を報告するもの 【10 月】 2 日 福岡市介護予防教室 出務 6 日 学術局会議 10 日 筑紫野市地域ケア会議 出席 12 日 福岡市地域ケア会議 出席 13 日 地域包括ケア推進局会議 17 日 筑紫野市と介護予防事業について会議 24 日 全国職能関連担当者会議 三役会議 25 日 ダイハツと新事業について打ち合わせ 28 日 福岡県理学療法士会理事会</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	松崎 哲治	職	副会長
議題	副会長活動報告 2		
内容及び 提出主旨	<p>令和 5 年 11 月までの活動等を報告するもの 【11 月】 1 日 春日市地域ケア会議 出席 2 日 TKP と打ち合わせ 4 日 日本理学療法士協会 Spice フォーラム 講演 5 日 介護予防推進リーダー導入研修会 講演・司会 6 日 博多区地域ケア会議 出席 9 日 春日市在宅介入事業 出務 13 日 福岡市介護予防教室 出務 15 日 福岡市介護予防教室 出務 福岡県庁と「地域ケア会議専門職向け研修」の事前打ち合わせ 三役会議 17 日 福岡市地域ケア会議 出席 福岡県在宅医療推進協議会 出席 19 日 地域ケア会議推進リーダー導入研修会 講演・司会 20 日 福岡ブロック会議 出席 28 日 福岡市介護予防教室 出務 福岡市地域包括ケアシステム推進会議 第 2 回専門部会 出席 30 日 福岡県庁「地域ケア会議基礎研修・司会者養成研修」 講師</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	諫武 稔	職	副会長
議題	副会長活動報告		
内容及び 提出主旨	<p>令和 5 年度 10～11 月までの活動等を報告するもの。</p> <p>【10 月】 2 日：県士会事務所打ち合わせ（財務） 5 日：総務局会議 10 日：総務部会議 17 日：福岡 2 地区管理者研修会 24 日：福岡県理学療法士会 三役会議 26 日：総務局会議 31 日：福岡東地区管理者研修会</p> <p>【11 月】 1 日：福岡 1 地区管理者研修会 7 日：北九州 2 地区マネジメント研修会 20 日：総務局会議（次期：福岡ブロック会議） 27 日：表彰委員会 28 日：総務部（災害対策担当）会議</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	遠藤正英	職	副会長
議題	副会長活動報告		
内容及び 提出主旨	<p>令和5年度10～11月までの活動等を報告するもの。</p> <p>【10月】 7日：九州ブロック政策検討委員会 24日：福岡県理学療法士会 三役会議</p> <p>【11月】 10日：筑後支部会議 15日：福岡県理学療法士会 三役会議 24日：九州ブロック会長会議 25日：熊本県理学療法士協会 設立50周年記念式典</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	近藤 直樹	職	専務理事
議題	士会承認症例報告会・士会承認研修会報告		
内容及び 提出主旨	<p>令和 5 年度 10～11 月の士会承認研修会・士会承認症例報告会開催の報告をするもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会：32 回分承認 ・症例報告会：43 回分承認 <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	近藤 直樹	職	専務理事
議題	後援名義一覧		
内容及び 提出主旨	令和 5 年度 10～11 月までの後援名義を報告するもの。 添付資料：有（添付資料名：報告_専務理事_2）		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

令和5年度 後援名義使用依頼一覧表(承諾先)

回答日	承諾先	開催日	研修会名
令和5年5月31日	公益社団法人福岡県病院協会	令和5年9月2日(土)	第14回県民公開医療シンポジウム
令和5年6月6日	九州肺機能談話会・アストラゼネカ株式会社	令和5年6月17日(土)	第80回九州肺機能談話会
令和5年6月13日	一般社団法人福岡県言語聴覚士会	令和5年9月9日(土)	「言語聴覚の日」言語聴覚フェスタ2023
令和5年8月7日	公益社団法人福岡県病院協会	令和5年10月7日(土)	令和5年度第1回リハビリテーション研修会
令和5年9月7日	公益社団法人北九州高齢者福祉事業協会	令和5年11月3日(金)	11月3日「介護の日」関連事業
令和5年9月7日	一般社団法人福岡県臨床工学技士会	令和5年11月4日(土)	第18回九州・沖縄臨床工学会
令和5年9月7日	福岡摂食嚥下サポート研究会	令和5年12月3日(日)	「第17回福岡摂食嚥下サポート研究会」
令和5年9月12日	福岡県認知症医療センター 久留米大学病院	令和5年9月22日(金)	福岡県地域住民、家族介護者向け認知症公開講座 「令和5年度オレンジ健康フェスタ」
令和5年9月21日	福岡県理学療法士連盟	令和5年10月19日(木)	令和5年度診療報酬研修会
令和5年11月29日	日本栄養・嚥下理学療法学会	令和6年7月6・7日(土・日)	第10回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	近藤 直樹	職	専務理事
議題	専務理事活動報告 1		
内容及び 提出主旨	<p>令和 5 年度 10 月までの活動等を報告するもの。</p> <p>【10 月】</p> <p>3 日：第 4 回選挙管理委員会</p> <p>5 日：第 4 回総務局会議</p> <p>11 日：日本理学療法士協会 第 2 回士会支援事業運営部会</p> <p>17 日：日本理学療法士協会 第 1 回代議員ネットワーク部会</p> <p>18 日：鬼木誠衆議院議員秘書来訪対応</p> <p>24 日：第 4 回三役会議</p> <p>26 日：第 5 回総務局会議</p> <p>28 日：第 4 回理事会</p> <p>30 日：古賀篤衆議院議員秘書来訪対応</p> <p>日本理学療法士協会 第 3 回士会支援事業運営部会</p> <p>31 日：管理者研修会（福岡東地区）</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	近藤 直樹	職	専務理事
議題	専務理事活動報告 2		
内容及び 提出主旨	<p>令和 5 年度 11 月までの活動等を報告するもの。</p> <p>【11 月】</p> <p>1 日：服部誠太郎県知事後援会 所長来訪対応 管理者研修会（福岡 1 地区）</p> <p>4 日：日本理学療法士協会 第 1 回 Spice フォーラム</p> <p>15 日：第 5 回三役会議</p> <p>20 日：第 6 回総務局会議（次期：福岡ブロック会議）</p> <p>24 日：日本理学療法士協会九州ブロック会第 2 回会長会議</p> <p>25 日：熊本県理学療法士協会 設立 50 周年記念式典・祝賀会</p> <p>30 日：日本理学療法士協会 第 4 回士会支援事業運営部会</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	諫武 稔	職	総務局長
議題	総務局会議報告 1		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第4回総務局会議 日 時：令和5年10月5日（月） 20：30～21：30 場 所：Web 開催 議 題（または内容）：組織部 令和4年度事業および令和5年度事業計画について ホームページ構築について FAX通信および広報誌ぴしゃっとの電子化について</p> <p>出務者：3名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	<p>ホームページ構築については、今年度中に構築作業を実施する。 FAX通信および広報誌ぴしゃっとの電子化については、次年度事業計画および予算を検討する前までに組織部としての方向性を検討する。</p>		
結果	<p>特になし</p> <p>終了</p>		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	諫武 稔	職	総務局長
議題	総務局会議報告 2		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第 5 回総務局会議 日 時：令和 5 年 10 月 26 日（月） 20：00～21：00 場 所：Web 開催 議 題（または内容）：社会局 フリーワーク事業について 現状までの内容確認および次年度に向けた計画説明 今後に向けた組織部との役割分担と連携について</p> <p>出務者：6 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	<p>フリーワーク事業の内容については、公益法人としてももう少し理学療法士の役割や働き、やりがいなど掲載することとする。原稿チェックについては、次年度に向けてチェック体制を強化する。（松崎局長、佐々木理事、近藤専務理事もチェックを行う体制とする）。予算については、当初予算よりも削減可能。フリーワークと県士会 HP の連携や一本化について部長とも検討を進めることとする。</p>		
結果	<p>特になし</p> <p>終了</p>		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	諫武 稔	職	総務局長
議題	総務局会議報告 3		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第6回総務局会議（次期福岡ブロック会議） 日 時：令和5年11月20日（月） 19：00～21：00 場 所：Web 開催 議 題（または内容）： 2024年度の組織図および部長配置について（予定）（近藤専務理事）次 年度事業移管について ・・・社会局、地域包括ケア推進局より（松崎副会長） 2024年度 総務・財務 学術研修 保健福祉 各々より福岡ブロック計画案&予算案について提案 出務者：6名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	12月理事会に福岡ブロックの保健福祉より新規事業提案予定		
結果	<p>特になし</p> <p>終了</p>		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	諫武 稔	職	総務局長
議題	三役会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第4回三役会議 日 時：令和5年10月24日（火） 20：00～21：30 場 所：Web開催 議 題（または内容）： ・第4回理事会打ち合わせ ・令和6年度事業割り当て予算検討について ・令和5年度修正予算作成スケジュールについて 出務者：8名</p> <p>2. 第5回三役会議 日 時：令和5年11月15日（水） 19：00～20：30 場 所：Web開催 議 題（または内容）： ・令和6年度新組織図および職務分掌、部長配置について ・令和6年度社会局および地域包括ケア推進局より事業移管内容について検討 ・会議にて決定した移管事業について各ブロックにて検討を実施する。 出務者：8名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	佐藤 憲明	職	総務部理事
議題	総務部（総務）会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1.第3回総務部会議 日 時:令和5年10月10日(火) 19:30~21:00 場 所 : 県士会事務所、Web 議 題(または内容) ・理事会資料作成再考 ・理事会出務者選定 ・県士会データ活用方法検討</p> <p>出務者:8名</p> <p>2.第4回総務部会議 日 時:令和5年10月18日(水) 19:00~19:45 場 所 :Web 開 催 議 題(または内容) ・新部長への業務伝達（議事録作成、その他業務について）</p> <p>出 務 者 : 2 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	今村 純平	職	総務部災害対策部理事
議題	総務部（災害対策）会議報告 1		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 3 回 3 士会合同災害医療研修会会議 日時：令和 5 年 10 月 26 日（木） 20:00～21:00 場所：Web 開催 内容：令和 6 年 1 月 14 日（日）実施予定の研修会についての打ち合わせ I. 講義内容確認 II. 研修会までのスケジュール確認 III. 申込受付方法の確認・ IV. 広報について V. 当日の役割と必要備品 VI. 対面参加者への災害食提供 VII. 研修会修了証について VIII. 次回会議について 出務者：2 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	今村 純平	職	総務部災害対策部理事
議題	総務部（災害対策）会議報告 2		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 4 回 3 士会合同災害医療研修会会議 日時：令和 5 年 11 月 20 日（月） 20:00～21:00 場所：Web 内容：令和 6 年 1 月 14 日（日）実施予定の研修会についての打ち合わせ I. 会場設営について（対面環境と配信環境） II. 研修会当日のスケジュール確認 III. 申込受付方法の確認・ IV. 広報について（チラシ内容の確認） V. 当日の役割と必要備品 VI. 対面参加者への災害食提供手配状況確認 VII. 研修会アンケート（共通） VIII. 次回会議について 出務者：3 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	今村 純平	職	総務部災害対策部理事
議題	総務部（災害対策）会議報告 3		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 2 回総務部（災害対策）会議 日時：令和 5 年 11 月 28 日（火）19:00～21:00 場名：Web 内 容：以下の通り I. 今年度事業の確認 II. ホームページ掲載について III. 人材確保について 本部運営（ロジ）人材の確保 IV. 緊急連絡訓練 12 月に実施</p> <p>出務者：5 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	佐々木圭太	職	組織部理事
議題	組織部会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1.2023 年度都道府県理学療法士会広報担当者会議 日 時：令和 5 年 11 月 6 日（月）19 時 00 分～20 時 30 分 場 所：Zoom 内 容：SNS 活用基礎研修、各士会の情報共有 出務者：1 名（佐々木）</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	佐々木圭太	職	組織部理事
議題	公式アプリおよび公式 LINE 登録者数について		
内容及び 提出主旨	令和 5 年 12 月 5 日時点の登録者数 アプリ：4,196 名 LINE：810 名 （10 月 8 日時点では、それぞれ 4,056 名、772 名） 添付資料：無		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	田代耕一	職	財務部理事
議題	財務部会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1.第2回総務局会議 日 時：令和5年11月13日（月）18:00～19:00 場 所：Web開催 議 題：財務部部長へ財務部業務の説明 財務部としての令和6年度活動内容について</p> <p>出務者：3名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	廣滋 恵一	職	学術局長
議題	学術局会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>第 7 回学術局会議 日 時 令和 5 年 10 月 6 日 (金) 19 : 00-20 : 00 場 所 web(zoom) 参加者 5 名 報告事項 ・ 第 105 回福岡県理学療法士会学術研修大会開会式来賓について ・ 学術研修大会の症例検討会：運動器 4 演題、中枢 3 演題の合計 7 演題 審議事項 1) 学会長選考規定 (案) について ・ 規定内容の確認と候補者要件、選考手順や選考基準について検討 2) 理学療法講習会について ・ 「リハビリテーションにおける超音波エコーの活用～評価・治療から 予防に繋げる～」で開催予定。オンライン開催、8 月～9 月を予定。</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	久保田 勝徳	職	学会部理事
議題	学会部会議報告 1		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第 1 0 回学会部会議 日 時：令和 5 年 10 月 26 日（火） 19：00～21：00 場 所：web 開催 議 題：第 33 回福岡県理学療法士学会の進捗について 出務者：10 名</p> <p>2. 第 1 1 回学会部会議 日 時：令和 5 年 11 月 7 日（火） 19：00～20：30 場 所：web 開催 議 題：第 33 回福岡県理学療法士学会、教育講演Ⅱの事前打ち合わせ 出務者：4 名</p> <p>3. 第 1 2 回学会部会議 日 時：令和 5 年 11 月 13 日（月） 19：00～20：30 場 所：web 開催 議 題：第 33 回福岡県理学療法士学会シンポジウムⅡの事前打ち合わせについて 出務者：4 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	久保田 勝徳	職	学会部理事
議題	学会部会議報告 2		
内容及び 提出主旨	<p>4. 第 1 3 回学会部会議 日 時：令和 5 年 11 月 14 日（火） 19：00～20：00 場 所：web 開催 議 題：第 33 回福岡県理学療法士学会シンポジウム I の事前打ち合わせについて 出務者：3 名</p> <p>5. 第 1 4 回学会部会議 日 時：令和 5 年 11 月 21 日（火） 19：00～20：00 場 所：web 開催 議 題：第 33 回福岡県理学療法士学会ランチタイムセミナー II の事前打ち合わせについて 出務者：3 名</p> <p>6. 第 1 5 回学会部会議 日 時：令和 5 年 11 月 29 日（水） 19：00～20：00 場 所：web 開催 議 題：第 33 回福岡県理学療法士学会ランチタイムセミナー I の事前打ち合わせについて 出務者：3 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	善明 雄太	職	学術研修部理事
議題	学術研修部会議報告 1		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第 10 回学術研修部会議 日時:令和 5 年 10 月 2 日(月) 20:00~21:00 場所:Web 開催 議題:第 105 回福岡県理学療法士会学術研修大会に向けての合同会議 出務者:16 名</p> <p>2. 第 11 回学術研修部会議 日時:令和 5 年 10 月 7 日(土) 19:00~20:00 場所:Web 開催 議題:第 105 回福岡県理学療法士会学術研修大会の運営委員選定について 出務者:3 名</p> <p>3. 第 12 回学術研修部会議 日時:令和 5 年 10 月 17 日(火) 20:00~21:30 場所:Web 開催 議題:第 106 回福岡県理学療法士会学術研修大会の企画について 出務者:10 名</p> <p>添付資料 : 無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	善明 雄太	職	学術研修部理事
議題	学術研修部会議報告 2		
内容及び 提出主旨	<p>4. 第 13 回学術研修部会議 日時:令和 5 年 10 月 23 日(月) 19:00~20:00 場所:Web 開催 議題:第 105 回福岡県理学療法士会学術研修大会の抄録と内容について 出務者:4 名</p> <p>5. 第 14 回学術研修部会議 日時:令和 5 年 11 月 5 日(日) 20:00~22:00 場所:Web 開催 議題:次年度の学術推進部の部長役割分担について 出務者:3 名</p> <p>5. 第 15 回学術研修部会議 日時:令和 5 年 11 月 7 日(火) 11:00~12:00 場所:Web 開催 議題:第 105 回福岡県理学療法士会学術研修大会コア会議 出務者:2 名</p> <p>添付資料 : 無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	善明 雄太	職	学術研修部理事
議題	学術研修部会議報告 3		
内容及び 提出主旨	<p>6. 第 105 回福岡県理学療法士会学術研修大会での会場と打ち合わせ 日時:令和 5 年 11 月 13 日(月) 18:00~19:30 場 所:北九州国際会議場 出務者:4 名</p> <p>7. 第 16 回学術研修部会議 日時:令和 5 年 11 月 19 日(日) 19:00~20:30 場 所:Web 開催 議 題:第 104 回福岡県理学療法士会学術研修大会事前確認合同会議 出務者:14 名</p> <p>添付資料 : 無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	岡本伸弘	職	教育研修部理事
議題	教育研修部会議		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第 8 回教育研修部会議 日時:令和 5 年 10 月 18 日(水) 19:30~21:00 場所:Web 開催 議題:新人研修会、臨床実習指導者フォローアップセミナーについて 出務者:7 名</p> <p>添付資料 : 無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	岡本伸弘	職	教育研修部理事
議題	新人研修会		
内容及び 提出主旨	<p>1. 令和 5 年度新人研修会 日 時:令和 5 年 10 月 21 日(土) 10:00~16:30 場 所:Web 開催 テーマ:「明日から使える疾患別臨床推論」～臨床現場では何を見て、何を感じ、何を考えるのか～ 講 師:吉尾 雅春氏 (千里リハビリテーション病院) 堀江 淳氏 (京都橘大学) 白土 健吾氏 (株式会社麻生飯塚病院) 赤羽 良和氏 (さとう整形外科) 岡澤 和哉氏 (九州大学病院) 田代 耕一氏 (花畑病院)</p> <p>出務者: 7 名 参加者: 268 名 (内訳: 登録 PT209 名,登録 PT 未取得 59 名)</p> <p>添付資料: 無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	岡本伸弘	職	教育研修部理事
議題	臨床実習指導者フォローアップセミナー		
内容及び 提出主旨	<p>1. 臨床実習指導者フォローアップセミナー第1回事前会議 日 時:令和5年10月23日(月) 19:30~20:00 場 所:Web 開催 議 題:臨床実習指導者フォローアップセミナーの概要について 出 務 者 : 7 名 欠 席 者 : 1 名</p> <p>2.臨床実習指導者フォローアップセミナー第2回事前会議 日 時:令和5年11月10日(金) 19:30~20:30 場 所:Web 開催 議 題:臨床実習指導者フォローアップセミナーの概要について 出 務 者 : 8 名</p> <p>3.臨床実習指導者フォローアップセミナー 日 時:令和5年11月18日(土) 9:00~12:00 場 所:リファレンス博多駅東 テーマ:診療参加型臨床実習における学生指導のコツ 講 師 : 小林 賢氏 (慶応義塾大学病院) 出 務 者 : 13 名 参 加 者 : 20 名</p> <p>添付資料 : 無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	岡本伸弘	職	教育研修部理事
議題	臨床実習指導者指導者講習会		
内容及び提出主旨	<p>1. 第 3 回臨床実習指導者講習会 事前会議 日 時:令和 5 年 10 月 11 日(水) 19:30~20:30 場 所:Web 開催 議 題:臨床実習指導者講習会の役割分担 出務者: 5 名</p> <p>2.第 3 回臨床実習指導者福岡県講習会 日 時:令和 5 年 11 月 14 日(土) 9:00~19:10 令和 5 年 11 月 15 日(日) 9:00~17:00 場 所:Web 開催 世話人: 別紙参照 講 師: 別紙参照 出務者: 3 名 参加者: 65 名</p> <p>添付資料: 有 (報告_教育研修部_1)</p>		
主な意見内容等	講師および世話人は別紙参照		
結果	終了		

第3回臨床実習指導者福岡県講習会

開催責任者

廣滋恵一	九州栄養福祉大学
------	----------

世話人

1	畑中 秀行	帝京大学 福岡医療技術学部
2	川崎 亮佑	小倉リハビリテーション学院
3	中野 浩志	北九州リハビリテーション学院
4	今村 啓太	九州医療スポーツ専門学校
5	劉 振	国際医療福祉大学 福岡保健医療学部
6	横尾 正博	専門学校 柳川リハビリテーション学院
7	占部 貴紀	福岡リハビリテーション専門学校
8	田中 和範	福岡医療専門学校
9	田中裕二	麻生リハビリテーション大学校
10	藤本一美	福岡和白リハビリテーション学院
11	大島 秀明	北九州リハビリテーション学院
12	神崎良子	九州栄養福祉大学

講師

講義 1	井元 淳	九州栄養福祉大学
講義 2	安岡武紀	福岡天神医療リハビリ専門学校
講義 3	松本典久	令和健康科学大学
講義 4	玉利誠	令和健康科学大学
講義 5	徳田一貫	専門学校 久留米リハビリテーション学院
講義 6	吉塚 久記	福岡国際医療福祉大学

教育研修部

吉田純一	新吉塚病院
嶋邨亮	介護老人保健施設 青洲の里
岡本伸弘	福岡和白リハビリテーション学院

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	中村雅隆、吉田大地	職	職能部理事
議題	職能部会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第 5 回健康促進支援事業事前打ち合わせ (TOYOTA)</p> <p>日 時：令和 5 年 11 月 14 日 (火) 14:00～15:00</p> <p>場 所：Web 開催</p> <p>内 容：①これまでの取り組みの説明 ②今後の支援内容の確認</p> <p>出務者：2 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	脇坂成重	職	公益事業推進部理事
議題	令和 5 年度 福岡県パラスポーツタレント発掘・育成事業 フクオカ・パラスター・プロジェクト (F-STAR)		
内容及び 提出主旨	<p>1.飯塚会場 日 時：令和 5 年 10 月 14 日（土）9：00～15：00 場 所：サンアビリティーズ飯塚 内 容：福岡県パラスポーツタレント発掘・育成事業に参加した方の 形態測定 形態測定内容：身長、体重、指極、肩関節柔軟性、長座体前屈、四肢 長、周径、胸囲、胴囲 出務者：3 名</p> <p>2.行橋会場 日 時：令和 5 年 11 月 23 日（木）9：30～13：00 場 所：行橋市民体育館 内 容：福岡県パラスポーツタレント発掘・育成事業に参加した方の 形態測定 形態測定内容：身長、体重、指極、肩関節柔軟性、長座体前屈、四肢 長、周径、胸囲、胴囲 出務者：3 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	脇坂成重	職	公益事業推進部理事
議題	第 153 回九州地区高等学校野球福岡県大会 1		
内容及び 提出主旨	<p>1.事前会議 日 時：令和 5 年 10 月 3 日（火） 20：00～ 21：30 場 所：Web 会議 内 容：救急対応の確認、現場担当リーダー間での打ち合わせ 出務者：7 名</p> <p>2.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 6 日（金） 9：00～16：30 場 所：久留米市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：5 件 出務者：3 名</p> <p>3.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 6 日（金） 9：00～15：30 場 所：県営春日公園野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：0 件 出務者：4 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	脇坂成重	職	公益事業推進部理事
議題	第 153 回九州地区高等学校野球福岡県大会 2		
内容及び 提出主旨	<p>4.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 9 日（月） 9：00～16：30 場 所：北九州市民球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：0 件 出務者：3 名</p> <p>5.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 14 日（土） 9：00～15：00 場 所：久留米市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：0 件 出務者：3 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	脇坂成重	職	公益事業推進部理事
議題	第 153 回九州地区高等学校野球大会 3		
内容及び 提出主旨	<p>1.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 28 日（土）9:00～15:00 場 所：久留米市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：0 件 出務者：3 名</p> <p>2.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 28 日（土）9:00～17:00 場 所：小郡市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：1 件 出務者：4 名</p> <p>3.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 29 日（日）9:00～16:00 場 所：久留米市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：4 件 出務者：4 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	脇坂成重	職	公益事業推進部理事
議題	第 153 回九州地区高等学校野球大会 4		
内容及び 提出主旨	<p>4.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 29 日（日） 9:00～17:00 場 所：小郡市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：1 件 出務者：4 名</p> <p>5.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 31 日（火） 9:00～16:00 場 所：久留米市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：0 件 出務者：3 名</p> <p>6.救護サポート 日 時：令和 5 年 10 月 31 日（火） 9:00～17:00 場 所：小郡市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：0 件 出務者：4 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	脇坂成重	職	公益事業推進部理事
議題	第 153 回九州地区高等学校野球大会 5		
内容及び 提出主旨	<p>7.救護サポート 日 時：令和 5 年 11 月 2 日（木） 9:00～17:00 場 所：久留米市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：4 件 出務者：3 名</p> <p>8.救護サポート 日 時：令和 5 年 11 月 3 日（金） 10:00～16:00 場 所：久留米市野球場 内 容：救護スタッフとしての出務 対応件数：5 件 出務者：3 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	脇坂成重	職	公益事業推進部理事
議題	第 40 回飯塚国際車いすテニス大会		
内容及び 提出主旨	<p>第 1 回実行委員会 日 時：令和 5 年 11 月 14 日（火） 18：30～20：00 場 所：飯塚市穂波庁舎 内 容：第 40 回天皇杯・皇后杯飯塚国際車いすテニス大会 JapanOpen2024 について 出務者：1 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	脇坂成重	職	公益事業推進部理事
議題	第 22 回健康 21 世紀福岡県大会		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第 22 回健康 21 世紀福岡県大会の事前準備 日 時：令和 5 年 9 月 30 日（土）16:00～18:00 場 所：県士会倉庫までの往復 内 容：荷物の運搬 出務者：1 名</p> <p>2. 第 22 回健康 21 世紀福岡県大会 日 時：令和 5 年 10 月 1 日（日）8：00～16：00 場 所：イオンモール福岡 内 容：来場者への体力測定 出務者：14 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	総数 165 名の方に体力測定を実施しました。		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	脇坂成重	職	公益事業推進部理事
議題	公益事業推進部会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 5 回公益事業推進部会議 日 時：令和 5 年 10 月 13 日（金） 20：00～ 21：00 場 所：Web 会議 内 容：FUree worKU 事業の進捗状況、下半期事業計画、次年度予算 出務者：5 名</p> <p>2.第 6 回公益事業推進部会議 日 時：令和 5 年 11 月 24 日（金） 21：30～ 22：30 場 所：Web 会議 内 容：FUree worKU 事業の記事内容の総務部との話し合い結果をふま えた会議 出務者：4 名</p> <p>3.第 7 回公益事業推進部会議 日 時：令和 5 年 11 月 28 日（火） 20：00～ 21：00 場 所：Web 会議 内 容：市民公開イベントの打ち合わせ 出務者：4 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし。		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	松崎 哲治	職	地域包括ケア推進局長
議題	地域包括ケア推進局会議報告 1		
内容及び 提出主旨	<p>第 6 回地域包括ケア推進局会議 日時：令和 5 年 10 月 13 日（金）19:30～20:30 場名：Web 内容： 来年度事業仕分け・来年度予算・今年度研修会確認について話し合いました</p> <ol style="list-style-type: none"> I. 来年度体制・来年度事業仕分け・予算について II. 理事・部長・実務担当者について III. 地域ケア会議推進リーダー導入研修会・ 介護予防推進リーダー導入研修会 IV. 地域医療介護総合確保基金 V. 2022 年度訪問リハビリテーション実務者研修会 VI. 地域ケア会議出席の理学療法士に対する理学療法士の派遣事業 VII. 地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダー・ フレイル予防推進リーダー管理 VIII. 福岡県地域ケア会議アドバイザー派遣事業 IX. 各市町村理学療法士派遣事業 X. 市町村あいさつ回り XI. 講義資料作成分担 <p>出務者：18 名 添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	松崎 哲治	職	地域包括ケア推進局長
議題	福岡県介護予防推進リーダー導入研修会		
内容及び 提出主旨	<p>1. 福岡県介護予防推進リーダー導入研修会 日 時：令和 5 年 11 月 5 日（日）9:00～16:50 場 所：Web テーマ：「福岡県介護予防推進リーダー導入研修会」 内 容：9：00～ 受付開始 9：30～ 開会挨拶、オリエンテーション 松崎局長 9：30～11：00 介護予防推進リーダー導入研修①-1 総合事業、地域づくりによる介護予防事業、地域リハ 活動支援事業について 講師：西村 天利（飯塚病院） 11：15～12：45 介護予防推進リーダー導入研修①-2 総合事業、地域づくりによる介護予防事業、地域リハ 活動支援事業について 埼玉県・福岡県の取り組み 講師：松崎 哲治（夫婦石病院） 12：45～13：35 昼食 13：35～15：05 介護予防_導入研修_② 地域づくりによる介護予防論 ～住民運営の「通いの場」への支援～ 講師：帆足 裕平（福岡青洲会病院） 15：20～16：50 介護予防_導入研修_③ 介護予防事業に関する行政・計画・関係団体 講師：薮野 倫巳（長尾病院） 受講生：18名（予約から7名の欠席） 参加者：4名 添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	松崎 哲治	職	地域包括ケア推進局長
議題	福岡県地域ケア会議推進リーダー導入研修会		
内容及び 提出主旨	<p>1. 福岡県地域ケア会議推進リーダー導入研修会 日 時：令和 5 年 11 月 19 日（日）9:00～16:00 場 所：Web テーマ：「福岡県地域ケア会推進リーダー導入研修会」 内 容：9：00～ 受付開始 9：30～ 開会挨拶、オリエンテーション 松崎局長 9：30～10：20 地域ケア会議_導入研修_① 地域包括ケアシステムについて 講師：中元寺 聡 氏（福岡志恩病院） 10：35～11：35 地域ケア会議_導入研修_② 地域ケア会議とは 講師：有田 雄一 氏 （ケアネットワークいやし早良サテライト 2） 11：35～12：25 昼食・休憩時間 12：25～14：15 地域ケア会議_導入研修_③ 地域ケア会議に求められるリハ専門職の役割 講師：村田 和優 氏（樋口病院） 14：30～16：00 地域ケア会議_導入研修_④ 模擬会議と心構えと実際 講師：松崎 哲治 氏（夫婦石病院） 受講生：21 名（予約から 4 名の欠席） 参加者：4 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	今村 純平	職	地域包括ケア推進局理事
議題	地域包括ケア推進局会議報告 2		
内容及び提出主旨	<p>1. 令和 5 年度久留米市フレイル予防啓発イベント第 1 回関係者会議 日 時：令和 5 年 10 月 5 日（木）19:00～20:30 場 所：久留米市保健所 4 階待合室兼会議室 内 容：イベント内容の打ち合わせ 開催日時：令和 6 年 1 月 21 日（日）10 時～15 時 場所：ゆめタウン久留米内特設ブース その他参加団体：福岡県作業療法協会、福岡県言語聴覚士会 久留米三井薬剤師会、福岡県歯科衛生士会 久留米市（地域保健課、長寿支援課） 久留米市地域包括支援センター 各団体の実施予定内容の確認と意見交換 出務者：1 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	今村 純平	職	地域包括ケア推進局理事
議題	地域包括ケア推進局会議報告 3		
内容及び 提出主旨	<p>1. 介護予防推進リーダーステップアップ研修会講師打ち合わせ 日 時：令和 5 年 10 月 18 日（木）19:30～20:30 場 所：Web 開催 内 容：研修会内容の打ち合わせ 講師（2 名）の講義内容の確認 Zoom を用いたグループワークについて方法確認 出務者：6 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 3		
提出者	今村 純平	職	地域包括ケア推進局理事
議題	地域包括ケア推進局会議報告 4		
内容及び 提出主旨	<p>1. 令和 5 年度第 4 回久留米市地域包括ケア実践交流会 日 時：令和 5 年 11 月 6 日（月）19:00～20:00 場 所：Web 開催 内 容：久留米市会員間の情報共有と意見交換 実践交流会開催の経緯説明 各事業における実務担当者からの報告、連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援地域ケア会議 ・おたっしゅ出張講座 ・地域リハビリテーション活動支援事業 <p>県士会からの報告 介護予防支援センターからの報告 その他（質疑応答、意見交換など）</p> <p>出務者：7 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	永野忍	職	北九州支部理事
議題	北九州支部会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1.第6回北九州支部会議 日 時：令和5年10月10日（水）19：00～20：30 場 所：Web開催 議 題（または内容）：令和5年度管理者研修会について、令和6年度事業北九州ブロック会員モニターについて、令和6年度新人オリエンテーションについて、管理者ネットワーク構築について 出務者：5名</p> <p>2.第7回北九州支部会議 日 時：令和5年10月12日（木）19:00～20:40 場 所：九州栄養福祉大学 議 題（または内容）：令和5年度マネジメント研修会（管理者研修会）について、令和5年度事業 北九州ブロック会員モニター募集について、北九州支部ブロック研修会について、令和5年度修正予算・令和6年度予算について、令和6年度北九州ブロックスローガンについて 出務者：4名</p> <p>1.第8回北九州支部会議 日 時：令和5年11月21日（火）19：00～20：30 場 所：Web開催 議 題（または内容）：令和5年度管理者研修会開催報告と次年度の企画検討、令和5年度事業 北九州ブロック会員モニター募集について、令和6年度新人オリエンテーションについて、管理者ネットワーク構築について 出務者：5名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	志田啓太郎	職	北九州支部理事
議題	社会職能担当活動報告		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 2 回パンフレット会議 日 時：令和 5 年 10 月 5 日（水）19：00～20：30 場 所：web 会議 議 題（または内容）：第 2 回パンフレット会議 パンフレット事業中止に伴う活動の確認。代替事業の確認。 次年度以降の事業についての確認。 出務者：3 名 添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	志田啓太郎	職	北九州支部理事
議題	北九州 1 地区活動報告		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 3 回北九州 1 地区会議 日 時：令和 5 年 10 月 17 日（火）19：00～20：00 場 所：web 会議 議 題（または内容）：第 3 回北九州 1 地区会議 北九州支部における実施事業及び予定の確認 令和 6 年度の社会職能担当における事業について 出務者：9 名 添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	志田啓太郎	職	北九州支部理事
議題	北九州 2 地区活動報告 1		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 10 回北九州 2 地区会議 日 時：令和 5 年 10 月 5 日（木）15：00～15：40 場 所：コムシティ 議 題（または内容）：令和 5 年度 八幡西区健康まつり企画会議 令和 5 年度における健康まつり開催の検討 出務者：1 名</p> <p>2.第 11 回北九州 2 地区会議 日 時：令和 5 年 10 月 18 日（水）18：55～19：15 場 所：Web 開催 議 題（または内容）：第 5 回北九州 2 地区体力測定会事前会議（夢授業）の当日に使用する資料作成と確認、実施内容の共有・検討 出務者：3 名</p> <p>3.第 12 回北九州 2 地区会議 日 時：令和 5 年 10 月 21 日（土）19：00～19：40 場 所：Web 開催 議 題（または内容）：第 4 回北九州 2 地区体力測定会事前会議 実施内容、方法、人員配置、必要物品、資料準備数の検討 出務者：5 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	志田啓太郎	職	北九州支部理事
議題	北九州 2 地区活動報告 2		
内容及び提出主旨	<p>4. 第 4 回北九州 2 地区体力測定会（枝光南市民センター） 日 時：令和 5 年 10 月 28 日（土）12：30～15：30 場 所：北九州市立枝光南市民センター 議 題（または内容）：第 4 回北九州 2 地区体力測定会 地域住民に向けた体力測定会を実施。実施内容（問診、握力、片脚立位、CS-30、立位体前屈）。質疑応答。日常生活における助言。 出務者：8 名</p> <p>5. 第 5 回北九州 2 地区体力測定会（夢授業） 日 時：令和 5 年 11 月 15 日（水）12：40～16：20 場 所：岡垣中学校 議 題（または内容）：第 5 回北九州 2 地区体力測定会（夢授業） パワーポイントを使用して中学 1 年生に理学療法士という仕事の紹介。 子供ロコモの実施。質疑応答。参加者(職業人)で感想や反省点の共有。 出務者：2 名 添付資料：無</p>		
主な意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	志田啓太郎	職	北九州支部理事
議題	筑豊地区活動報告		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 12 回筑豊地区会議 日 時：令和 5 年 10 月 11 日（水）19：00～20：20 場 所：web 会議 議 題（または内容）：飯塚市主催の福祉祭り最終打ち合わせ 令和 5 年度における健康まつり開催の検討 出務者：9 名</p> <p>2.福祉祭事業 日 時：令和 5 年 10 月 15 日（日）8：00～14：30 場 所：飯塚市役所前広場 議 題（または内容）： 健康相談事業～『みんなの健幸福祉のつどい 2023』健康相談ブース 健康相談の実施。軽運動のモルック紹介。筋肉体操の実演。 出務者：10 名 添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	後藤圭	職	北九州支部理事
議題	北九州 1 地区研修会		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 1 回北九州 1 地区研修会 日 時：令和 5 年 10 月 11 日（水）19：00～20：30 場 所：九州栄養福祉大学 階段教室 議 題（または内容）：知ってほしい呼吸リハビリテーションのエビデンス～海外活動を踏まえ～ 講師：新貝 和也 氏（霧ヶ丘つだ病院） 司会：池内 智之（霧ヶ丘つだ病院） 参加者：31 名 出務者：5 名</p> <p>2.第 2 回北九州 1 地区研修会 日 時：令和 5 年 10 月 31 日（火）19：00～20：30 場 所：九州栄養福祉大学 階段教室 議 題（または内容）：キネシオテーピングと臨床への応用 講 師：小樋 雅隆 氏（株式会社麻生飯塚病院） 司 会：千代野 滝太（小波瀬病院） 参加者：20 名 出務者：6 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	後藤圭	職	北九州支部理事
議題	北九州 2 地区症例検討会 1		
内容及び 提出主旨	<p>1.北九州 2 地区症例検討会 日 時：令和 5 年 11 月 17 日（水）19：00～20：30 場 所：九州栄養福祉大学 階段教室 議 題（または内容）： テーマ：「歩行時に膝折れを呈していた左大腿骨近位部骨折術後症例への介入」 発表者：吉井 太輝 氏 （正和なみき病院） 司 会：原田 祥吾 氏 （東筑病院） 時 間：19：00～19:30 聴講者：65 名 テーマ：「4年間外来心臓リハビリテーションを継続中の呼吸器疾患を有する冠動脈バイパス術後の症例」 発表者：高尾 美穂 氏 （東筑病院） 司 会：原田 祥吾 氏 （東筑病院） 時 間：19：30～20:00 聴講者：65 名 テーマ「自己効力感に対してアプローチすることで行動変容改善を促した THA 患者の一症例～AB デザインによる検討～」 講 師：緒方 政寿 氏 （正和中央病院） 司 会：原田 祥吾 氏 （東筑病院） 時 間：20：00～20:30 聴講者：47 名 出務者：5 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	後藤圭	職	北九州支部理事
議題	北九州 2 地区症例検討会 2		
内容及び 提出主旨	<p>1.第 14 回北九州 2 地区会議 日 時：令和 5 年 11 月 30 日（木）19：00～20：30 場 所：web 会議 議 題（または内容）：1.2024 年度上半期講師選定、2.症例報告会につ いて、3.その他 地区研修新規立ち上げ 出務者：12 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	岡本伸弘	職	福岡支部理事
議題	体力測定会		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第 6 回 体力測定会会議 日 時:令和 5 年 10 月 12 日(木) 19:30~21:00 場 所:Web 開催 議 題:体力測定会のイベント内容・告知について 出務者:4 名</p> <p>2. 第 7 回 体力測定会会議 日 時:令和 5 年 11 月 2 日(木) 19:30~20:15 場 所:Web 開催 議 題:当日のスケジュール・準備物について 出務者:4 名</p> <p>3. 第 8 回 体力測定会会議 日 時:令和 5 年 11 月 8 日(木) 18:30~20:00 場 所:粕谷西小学校 議 題:会場の下見・PTA への説明について 出務者:3 名</p> <p>添付資料: 無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	岡本伸弘	職	福岡支部理事
議題	体力測定会		
内容及び 提出主旨	<p>4. 福岡支部 第 2 回体力測定会 日時:令和 5 年 11 月 12 日(土) 12:15~16:30 場所:粕屋西小学校 内容:講演会や運動機会の提供 出務者:15 名 参加者 : 約 50 世帯 (約 150 名)</p> <p>5. 第 9 回 体力測定会会議 日時:令和 5 年 11 月 28 日(火) 19:30~20:30 場所:Web 開催 議題:次年度の体力測定会について 出務者:3 名</p> <p>添付資料 : 無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	沖原 優子	職	福岡支部理事
議題	管理者研修会(マネジメント研修会)1		
内容及び 提出主旨	<p>1. 福岡 2 地区管理者研修会(マネジメント研修会) 日 時：令和 5 年 10 月 17 日(火)19:00～21:00 場 所：福岡天神医療リハビリ専門学校 内 容：＜講演 1 (30 分)＞ テーマ：「トリプル改定に向けて我々に求められているものは何か？～支援の再考と実践～」 講 師：西浦健蔵氏（福岡県理学療法士会 会長） ＜講演 2 (30 分)＞ テーマ：「職員の可能性を引き出すコツ！キャリアラダーと目標管理制度の活用」 講 師：諫武稔氏（福岡県理学療法士会 副会長） ＜講演 3 (20 分)＞ テーマ：「福岡県理学療法士会における災害対応～地域の協力的体制作り～」 講 師：諫武稔氏（福岡県理学療法士会 副会長） ＜グループディスカッション (30 分)＞ 出務者：8 名 参加者：15 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	沖原 優子	職	福岡支部理事
議題	管理者研修会(マネジメント研修会)2		
内容及び 提出主旨	<p>2. 福岡東地区管理者研修会(マネジメント研修会) 日 時：令和 5 年 10 月 31 日(火)19:00～21:00 場 所：水光会ウェルネスセンター 地域交流室 内 容：上記研修会と同様 出務者：7 名 参加者：18 名</p> <p>3. 福岡 1 地区管理者研修会(マネジメント研修会) 日 時：令和 5 年 11 月 1 日(水)19:00～21:00 場 所：麻生リハビリテーション大学校 内 容：上記研修会と同様 出務者：11 名 参加者：23 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	齊藤 貴文	職	福岡支部理事
議題	福岡支部研修会 1		
内容及び 提出主旨	<p><事前会議></p> <p>1. 第 2 回福岡 2 地区研修会 事前会議 日時：令和 5 年 10 月 13 日(金) 17:30～18:30 場所：WEB 開催 内容：研修会テーマおよび講演内容の共有 全体討議の打ち合わせ 参加者：1 名 出務者：2 名</p> <p>2. 第 2 回福岡支部研修会 事前会議 日時：令和 5 年 10 月 20 日(金) 19:00～20:00 場所：WEB 開催 内容：研修会テーマおよび講演内容の共有 全体討議の打ち合わせ 参加者：2 名 出務者：4 名</p> <p>3. 第 3 回福岡支部研修会 事前会議 日時：令和 5 年 11 月 16 日(木) 19:00～19:30 場所：WEB 開催 内容：研修会テーマおよび講演内容の共有 全体討議の打ち合わせ 参加者：4 名 出務者：2 名 添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	齊藤 貴文	職	福岡支部理事
議題	福岡支部研修会 2		
内容及び 提出主旨	<p><研修会></p> <p>1. 第 1 回福岡東地区研修会 日 時：令和 5 年 10 月 27 日(金) 19:00～21:00 場 所：福岡青洲会病院 内 容：投球障害肩に対する評価と治療戦略 講 師：鶴田 崇 氏 (南川整形外科病院) 司 会：樋口 貴彦 氏 (宗像水光会総合病院) 参加者：9 名 出務者：3 名</p> <p>2. 第 2 回福岡支部研修会 日 時：令和 5 年 11 月 5 日(日) 19:00～12:10 場 所：WEB 開催 テーマ：内部障害理学療法をアップデートする 講演 1 「内部障害理学療法をアップデートする～呼吸器疾患編～」 講師 1 金子 秀雄 氏 (国際医療福祉大学) 講演 2 「内部障害理学療法をアップデートする～循環器疾患編～」 講師 2 永富 祐太 氏 (九州大学病院) 講演 3 「内部障害理学療法をアップデートする～代謝疾患の栄養療法編～」 講師 3 田中 拓樹 氏 (福岡青洲会病院) 全体討議「内部障害理学療法の課題と解決策」 座 長：金子 秀雄 氏 (国際医療福祉大学) 司 会：馬場 慶和 氏 (桜十字福岡病院) 参加者：184 名 出務者：1 名 添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	岡本伸弘	職	福岡支部理事
議題	令和 6 年度 福岡ブロック保健福祉 新規事業計画（案）について		
内容及び 提出主旨	添付資料：無		
主な 意見内容等	社会局と話し合いをする。		
結果	審議取り下げ。 終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	安 勇喜	職	筑後支部理事
議題	筑後 2 地区研修会		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第 2 回筑後 2 地区研修会 日 時：令和 5 年 10 月 20 日（金） 19:00～21:00 場 所：Web 開催 テーマ：脳卒中後遺症患者の体幹機能への介入について 講 師：小出 佳典氏（柳川リハビリテーション病院） 司 会：村上 淳也氏（柳川リハビリテーション学院） 参加者：289 名 出務者：5 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1		
提出者	安 勇喜	職	筑後支部理事
議題	筑後支部会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第4回筑後支部会議 日 時：令和5年11月10日（金）19:00～21:00 場 所：新古賀病院 議 題：症例報告会の進捗状況報告、座長決定、運営方法検討確認 管理者研修会開催、管理者ネットワーク構築に向けた協議 出務者：31名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 1・公益 2		
提出者	村上 武士	職	筑後支部理事
議題	筑後 2 地区会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第 2 回筑後 2 地区会議 日 時：令和 5 年 10 月 11 日（水）19:00～20:30 場 所：Web 開催 議 題：地区研修会の打ち合わせ（10 月、12 月）、管理者研修会の進捗状況報告、1・2 地区合同の症例報告会進捗状況の報告、介護予防事業（大牟田市との共催）の内容検討 出務者：16 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	公益 2		
提出者	村上 武士	職	筑後支部理事
議題	筑後 2 地区啓発事業		
内容及び 提出主旨	<p>1. 理学療法啓発事業 からだの健康チェック 日 時：令和 5 年 11 月 23 日（木）8:00～13:00 場 所：大牟田中央小学校体育館 内 容：体調チェック 体力測定（握力、片脚立位、立位体前屈、CS-30） ロコモチェック（立ち上がりテスト、2ステップテスト、 ロコモ 25） 体組成測定 測定結果説明および運動相談 ミニ講座（2 講演） 「からだの健康チェック（肩・腰編）」 「腰痛予防」 当日参加人数：29 名（11 歳～87 歳） 出務者：14 名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	諫武 稔	職	表彰委員会委員長
議題	表彰委員会会議報告		
内容及び提出主旨	<p>1. 第2回表彰委員会 日 時：令和5年11月27日（月） 19：30～20：00 場 所：Web開催 議 題（または内容）：・ 令和5年度表彰委員会スケジュールについて（修正） ・協会賞&県士会功労賞&感謝状 選出および該当者について ・名誉会員推薦について</p> <p>出務者：3名</p> <p>添付資料：無</p>		
主な意見内容等	<p>協会賞および名誉会員に関しては、推薦予定者を審議事項として提案し 県士会功労賞、感謝状受賞者に関しては、理事会で選出依頼を行うものとする。</p>		
結果	<p>終了</p>		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	秋 達也	職	選挙管理委員長
議題	選挙管理委員会会議報告		
内容及び 提出主旨	<p>1. 第5回選挙管理委員会 日 時：令和5年11月8日（水） 19：30～20：00 場 所：Web開催 議 題（または内容）： ・選挙スケジュールについて（確認） ・選挙アンケートについて（同意方法・時期の協議） ・告示、要綱の確認、推薦の担当割り振り</p> <p>2. 第6回選挙管理委員会 日 時：令和5年11月17日（金） 19：00～20：00 場 所：Web開催 議 題（または内容）： ・I-Vote 操作確認 ・立候補申請の調整・確認</p> <p>添付資料：無</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【報告】

事業分類	法人		
提出者	秋 達也	職	選挙管理委員長
議題	JPTA 代議員選挙について		
内容及び 提出主旨	<p>1. JPTA 選挙運営委員会 日 時：令和 5 年 12 月 15 日（金） 19：00～20：00 場 所：Web 開催 議 題（または内容）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JPTA 代議員選挙要綱の修正について ・ 選挙スケジュールについて ・ 推薦の流れについて ・ 広報について <p>添付資料：有</p>		
主な 意見内容等	<p>JPTA 代議員選挙が令和 6 年 1 月 22 日に立候補申請開始となっており、 県士会ホームページでの告知を行うよう依頼あり。担当理事と協議し告知していく。</p>		
結果	<p>終了</p>		

代議員選挙 選挙制度に関する新旧対照表

新	旧
<p data-bbox="240 383 395 412"><選挙運動></p> <ul data-bbox="240 427 783 607" style="list-style-type: none"><li data-bbox="240 427 783 607">・ 役員候補者選挙と同様に「電子メールを利用した選挙運動」、「通常ハガキまたはビラを含む投票依頼文書の頒布」、「電話による投票依頼」を禁止。 <p data-bbox="240 667 783 696">・ X・リポスト・引用リポスト（名称変更）</p>	<p data-bbox="809 383 963 412"><選挙運動></p> <ul data-bbox="809 427 1351 562" style="list-style-type: none"><li data-bbox="809 427 1351 562">・ 「電子メールを利用した選挙運動」、「通常ハガキまたはビラを含む投票依頼文書の頒布」、「電話による投票依頼」を認める。 <p data-bbox="809 667 1351 696">・ Twitter・リツイート・引用リツイート</p>

代議員選挙の流れ

県士会別代議員定数算出(代議員定数300名)、選挙権、被選挙権を有する者は正会員
※別途、補欠代議員定数も算出

2024年1月10日選挙人名簿抽出(選挙規程8条)

選挙告示

立候補届受付、審査、受理

立候補者公表、選挙公報発行

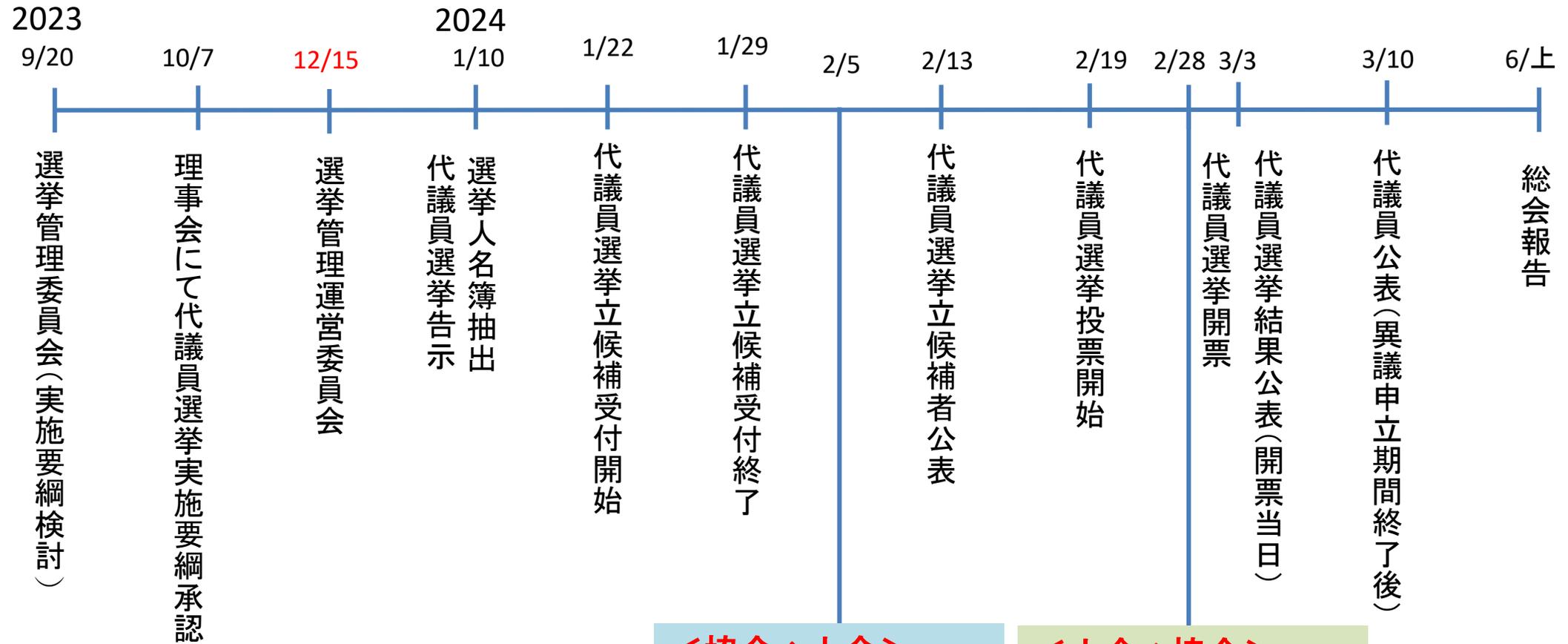
投票

開票、選挙結果公表

異議申立

当選人確定

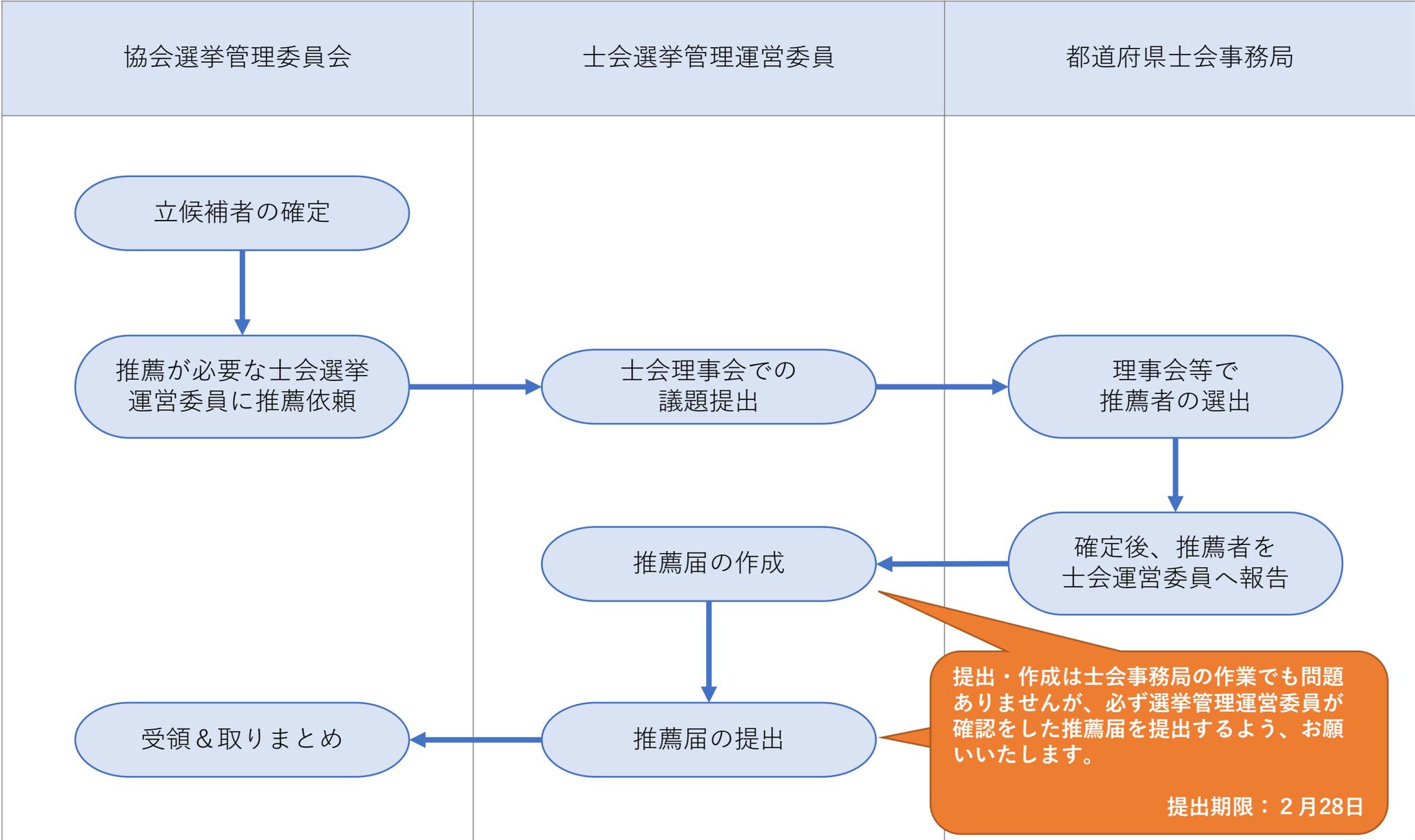
代議員選挙スケジュール（案）



＜協会→士会＞
不足分の代議員及び
補欠代議員数を報告

＜士会→協会＞
不足分の代議員及び
補欠代議員推薦者を
提出

代議員・補欠代議員推薦の流れ



【理事会】 【依頼】

事業分類	法人		
提出者	佐々木圭太	職	組織部理事
議題	イベント管理システムの運用について		
内容及び提出主旨	<p>イベント管理システムにつきまして、効率的な運用のため登録手順について改めてご案内いたします。添付資料は令和 5 年度第 1 回理事会にも提出したものです。</p> <p>添付資料：有(依頼_組織部_1,2)</p>		
主な意見内容等	<p>*現在、イベント管理システムのカレンダーに表示される研修会等のイベントは 1 件までとなっている。2 件以上の表示が可能な仕様にシステムを変更する場合、どれほどの費用が掛かるのか。 →確認は行っていないが、費用が発生する可能性は高く、金額としては安くはないとも考えている。日程が重複した場合のカレンダー表示については、理事同士の申し合わせ等で回避することも可能であるため、費用をかけてまでシステムの仕様を変更する必要がないと考えている。これは他の事業を圧迫する可能性も考慮している。</p> <p>*支部局、社会局としてはイベント件数の多さから日程が重複する可能性がある。重複を避けるように配慮するのはもちろんだが、システムとしては重複を可能にして欲しいという発言があった。</p> <p>*重複しても問題ないような研修会をわざわざ変更しないといけないというシステムに疑問を感じている。今後、重複する件数等の実績次第では再度システムの変更を検討してもよいのではないか。重複を避ける作業や研修会を再調整する場合は、研修会運営側も労力を費やしていることを理解して頂きたい。 →重複している現状や重ならないことを前提とした現状のシステムの仕様を変更する際の費用等を踏まえて今後、検討していきたい。</p>		
結果	終了		

イベント管理システムの運用について

イベント登録のしかた

- ▶ 研修会等の日程調整をする際、3つまで候補日を挙げ、イベント管理システム（以下、システム）に仮登録を行う
- ▶ 日程が確定しだい、協会マイページへの登録を事務所へ依頼し、セミナー番号取得
- ▶ セミナー番号を追記し本登録に変更して完了
- ▶ HP お知らせへの掲載も希望する場合は、掲載依頼書を組織部へ別途提出

やむを得ず重複する場合

- ▶ 検討中の日時にすでに仮登録もしくは本登録がある場合、先に入力した部署に相談のうえ承諾を得る
- ▶ 協会マイページへの登録を事務所へ依頼し、セミナー番号取得
- ▶ システム登録はできないため、代わりにHP・アプリ掲載依頼書と原稿を作成し組織部へ提出
その際、他の広報手段*について組織部へ相談する
※LINE 配信、アプリのプッシュ通知、FAX 通信など

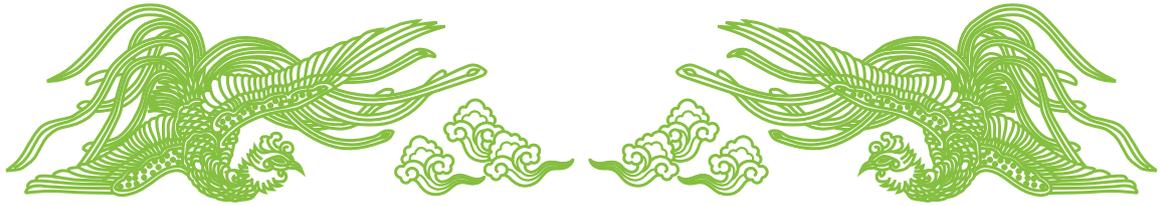
会員の皆さまのためにもできる限り重複を避けていただくよう、重ねてお願いいたします。

【理事会】 【依頼】

事業分類	法人		
提出者	諫武 稔	職	表彰委員会
議題	福岡県理学療法士会功労賞および感謝状該当者選出について		
内容及び 提出主旨	<p>例年表彰している福岡県理学療法士会功労賞および感謝状授与する 該当者選出について各局の協力を依頼する。 県士会功労賞および感謝状受賞者選出に関しては、別紙調書を記入の 上、2024年1月31日までに表彰委員会諫武まで提出をお願いしたい。</p> <p>(県士会功労賞過去受賞者リスト等は、別途送信予定)</p> <p>県内で活躍している会員に対して表彰を推進していくことを目指してい ますので御協力をお願いしたい。 受賞者は、来年6月開催予定の総会にて表彰予定となっている。</p> <p>添付資料：有 審議_表彰委員会-1 3-21-1 表彰規程 210606 審議_表彰委員会-2 2023年度 協会賞表彰要件 依頼_表彰委員会_1-2 (2023)</p>		
主な 意見内容等	特になし		
結果	終了		

【理事会】 【依頼】

事業分類	法人		
提出者	諫武 稔	職	表彰委員会
議題	保健文化賞および飯田賞受賞者選出について		
内容及び提出主旨	<p>例年日本理学療法士協会より依頼がある保健文化賞および飯田賞について今年度も依頼が来た場合に該当者をスムーズに推薦が出来るように該当者選出について各局の協力を依頼する。</p> <p>受賞者選出に関しては、別紙募集要項を参考として推薦をお願いしたい。（今年度の依頼は、2月以降の予定）</p> <p>今年度の依頼はまだ協会より来ていないが、依頼時にスムーズな選出を行うために県士会として推薦者を選出しておきたい。</p> <p>添付資料：有 依頼_表彰委員会_保健文化賞 2023 募集要項 依頼_表彰委員会_飯田賞 2023 募集要項</p>		
主な意見内容等	特になし		
結果	終了		



保健文化賞

募集要綱



第 75 回

(2023年度)

主催 第一生命保険株式会社
後援 厚生労働省
朝日新聞厚生文化事業団
NHK厚生文化事業団



ごあいさつ

第一生命保険株式会社 代表取締役社長 稲垣 精二

保健文化賞は、今年で第75回を迎えることとなりました。

この間、社会的評価も高まり、今日では、保健衛生の分野において権威ある賞として認められておりますことは、主催者といたしまして誠に喜ばしくかつ光栄なことと存じます。これもひとえに受賞者の方々のご献身は申すまでもなく、厚生労働省ならびに朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団の長年にわたるご後援と、関係各方面の皆さま方のご支援、ご協力の賜物と存じ、ここにあらためて衷心よりお礼申し上げます。

当社は創業以来、生命保険業を通じた社会への貢献とともに、健康増進や保健衛生の向上などに努めてまいりました。1934年には「保生会」を設立して当時の国民病であった結核予防に取り組み、戦後間もない1950年には、衛生環境が悪化する中で、保健衛生に従事するの方々のご功績やご労苦に対し、感謝と敬意を捧げるために本賞を創設いたしました。

創設当時は結核や栄養不足、その後は生活習慣病対策、高齢者・障がい者福祉、国際保健など、その時代におけるさまざまな課題に取り組んでこられた方々を顕彰してまいりました。これまでの顕彰数は団体722、個人372名、合わせて1,094件にのぼります。70年以上もの長い時間をかけて1千件を超える方々に賞をお贈りできましたのも、受賞された皆さまが地域に密着しながらひたむきに活動を継続され、広く社会に貢献されているからこそであり、ここにあらためて受賞された全ての皆さま方に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

当社は、今後も生命保険業を通じて「安心」と「健康」をお届けすることで社会に貢献してまいるとともに、本賞を通じて、今後も微力ながら保健衛生の向上に寄与していく所存です。引続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第75回 保健文化賞要綱

- 主 催 第一生命保険株式会社
- 後 援 厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK厚生文化事業団
- 対 象
 1. 保健衛生（関連する福祉等を含む）を実際に著しく向上させた団体あるいは個人
 2. 保健衛生（関連する福祉等を含む）の向上に著しく寄与する研究または発見をした団体あるいは個人
- 応 募
 - ・応募用紙は規定の用紙（候補者調書）を使用すること
ダウンロードはこちらから↓
<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken02.html>
 - ・必ず推薦者を得て提出のこと
 - ・記入後の応募用紙は、現物とワードデータの両方を送付ください。
（現物は郵送、ワードデータはEメール）
 - 郵送先：〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1（TEL050-3780-6950）
第一生命保険株式会社 コーポレートコミュニケーション部
保健文化賞担当
Eメール：hobun1950@daiichilife.com
- 審 査 審査委員会が行なう（審査委員は次頁のとおり）
- 表 彰 受賞者全員に以下をそれぞれ贈呈する
厚生労働大臣賞（表彰状）
第一生命賞（感謝状：賞金 団体200万円、個人100万円）
朝日新聞厚生文化事業団賞（記念品）
NHK厚生文化事業団賞（記念品）
- 表彰場所 東京
- 日 程
 - ・募集開始 2023年2月1日（水）
 - ・締切日 2023年4月17日（月） 当日消印有効
 - ・審査・発表 2023年9月上旬
 - ・表彰期日 2023年秋

審 査 委 員 名

(敬称略 2023.1.1現在)

■学 識 経 験 者 (五十音順)

国立医薬品食品衛生研究所長	合	田	幸	広
北里研究所理事長	小	林	弘	祐
国立保健医療科学院長	曾	根	智	史
日本放送協会会長	前	田	晃	伸
日本公衆衛生協会理事長	松	谷	有 ^希	雄
結核予防会結核研究所名誉所長	森		裕	亨
東京大学医科学研究所長	山	梨	隆	司
国立感染症研究所長	脇	田		字

■厚生労働省

医 務 技 監	福	島	靖	正
大臣官房危機管理・医務技術総括審議官	浅	沼	一	成
医政局長(死因究明等推進本部事務局長併任)	榎	本	健 ^太	郎
健 康 局 長	佐	原	康	之
医 薬 ・ 生 活 衛 生 局 長	八	神	敦	雄
大臣官房生活衛生・食品安全審議官	佐 ^々	木	昌	弘
子 ど も 家 庭 局 長	藤	原	朋	子
社会・援護局障害保健福祉部長	辺	見		聡
老 健 局 長	大	西	証	史
保 険 局 長	伊	原	和	人

■朝日新聞厚生文化事業団

理 事 長	藤	井	龍	也
業 務 執 行 理 事	是	永	一	好

■NHK厚生文化事業団

理 事 長	松	崎	和	義
常 務 理 事	石	川		信

■第一生命保険株式会社

代 表 取 締 役 社 長	稻	垣	精	二
取 締 役 常 務 執 行 役 員	竹	内	章	二

応募にあたっての留意事項

応募にあたっては第75回保健文化賞要綱によりますが、次の点にご留意ください。

1. 保健文化賞の対象となる保健衛生（関連する福祉等を含む）とは、健康増進、疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障がい者の保健福祉分野、少子化対策等をいいます。
2. 日本国内に限らず、国外における活動も対象とします。
3. 純学術的なものより、地域に密着した地道で身近な活動や実際的な活動を対象とします。
4. 推薦者を必要とし、自薦ではなく他薦とします。なお、下記の各種団体（※）には推薦協力を依頼しています。
5. 推薦者は応募者の承諾を得て推薦するものとします。
6. 同一功績による団体とその団体に属する個人が同時に応募することはできません。
7. 提出書類は返還しません。
8. 受賞決定後、受賞者名・職業および都道府県名等を公表します。
9. 候補者調書など関係書類の内容に事実と異なる記載がある場合や、本賞の授与にふさわしくないと判断される事実が判明した場合は、受賞した後であっても受賞が取り消される場合があります。
10. 要綱は、第一生命ホームページにも掲載しています。

応募用紙（候補者調書）は、ホームページよりダウンロードできます。

・ 第一生命ホームページ <https://www.dai-ichi-life.co.jp>

・ 応募用紙（候補者調書）ダウンロードはこちらから↓

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken02.html>

<団体の応募の対象>

11. 活動実績が原則として10年以上あり、かつ将来の活動も期待できるものとします。ただし、新型コロナウイルス感染症対策を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。
12. 過去に以下の表彰歴のある団体は応募の対象としません。
 - ・過去20年以内に保健文化賞を受賞している団体。
 - ・過去20年以内に保健文化賞を受賞した個人が代表を務めている又は代表を務めていた団体。
 - ・過去に叙勲又は褒章（紺綬褒章を除く）を受けた方が代表を務めている又は代表を務めていた団体にあつては、それと同一功績での応募。
 - ・過去20年以内に、「医療功労賞」「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」などの天皇皇后両陛下の拝謁を賜る厚生労働大臣表彰を受賞した方が代表を務めている又は代表を務めていた団体にあつては、それと同一功績での応募。
 - ・過去10年以内に同一功績により厚生労働大臣表彰を受けた団体。

<個人の応募の対象>

13. 年齢が原則として50歳以上で、活動年数が原則として10年以上あり、かつ将来の活動も期待できる方とします。ただし、新型コロナウイルス感染症対策を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。
14. 国・都道府県・指定都市等の本省庁職員、特別職公務員およびこれらに準ずる職種の方は対象としません。ただし、これらの職種の方についても、離職後は対象となりますが、公務としての業績は対象としません。
15. 過去に以下の表彰歴のある方は応募の対象としません。
 - ・過去に保健文化賞を受賞した方および受賞した団体の代表であった方。
 - ・過去に叙勲又は褒章（紺綬褒章を除く）を受けた方。
 - ・過去に、「医療功労賞」「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」などの天皇皇后両陛下の拝謁を賜る厚生労働大臣表彰を受賞した方および受賞した団体の代表であった方。
 - ・過去10年以内に同一功績により厚生労働大臣表彰を受けた方。
16. 個人の受賞の対象は、審査委員会時に存命である方とします。

(※) 推薦協力を依頼している団体

都道府県、指定都市、中核市、保健所政令市、特別区や、医学部、歯学部、薬学部、看護学部又は福祉学部を有する大学、その他関係機関および団体等（P.38「推薦協力依頼をしている関係機関および団体等抜粋」参照）

保健文化賞の経緯

保健文化賞は、1950年（昭和25年）以来、第一生命保険株式会社が毎年主催し、厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK 厚生文化事業団の後援により、保健衛生および関連する福祉等の分野でご尽力されている団体および個人を顕彰してまいりました。

長い歴史の中では様々な課題が生じています。創設当時には、結核等の感染症や栄養不足が喫緊の課題であったことから、これらの分野での活躍を応援してまいりました。

現在では、がんや生活習慣病といった慢性疾患、高齢化に伴う高齢者・障がい者福祉、さらに、国際保健分野等、幅広い課題に多くの方々取り組まれています。

今後も、人々の健康と暮らしを支え、時代の流れとともに生まれる課題に対して地道に活動される方々を応援していくことが、保健文化賞の変わらぬ役割です。

創設から現在まで

1949年（昭和24年）6月	第一生命の社員総代会にて保健文化賞設立を決議
1950年（昭和25年）1月	保健文化賞設定趣意書を設定
1950年（昭和25年）3月	厚生省、朝日新聞厚生文化事業団の後援のもと、朝日新聞東京本社講堂にて第1回贈呈式を開催
1959年（昭和34年）（第11回）	天皇皇后両陛下の拝謁が始まる
1962年（昭和37年）（第14回）	NHK 厚生文化事業団が後援に加わる
1978年（昭和53年）（第30回）	「保健文化賞30年のあゆみ」を発行
1987年（昭和62年）（第38回）	受賞者業績集「保健衛生の向上を願って」の発行を開始 （以降、第60回まで毎年発行）
1998年（平成10年）（第50回）	「保健文化賞50年のあゆみ」を発行
2008年（平成20年）（第60回）	「保健文化賞60年のあゆみ」DVDを発行
2016年（平成28年）（第68回）	受賞件数が1,000件を超過
2019年（平成31年）4月	「保健文化賞70年のあゆみ」を発行

保健文化賞設定趣意書

我が国における公衆衛生の思想及び施設は、戦争中から著しく低下衰退致しまして、真に憂慮すべき状態に立至っておりましたが、終戦後、連合軍の熱心な指導と政府の積極的な努力と施策によって、逐次改善に向いつつあることは御同慶に堪えません。しかしながら一般の現状はいまだ決して満足すべき域に達しておらず、とくにこれを先進諸外国の実情と比較致しますと、前途なお遥かなりの感なきを得ません。

今後、我が国が文化的平和的国家として発展するためにも、一般衛生思想の普及と保健施設の拡充強化は、誠に焦眉の急務でありまして、健全明朗な文化は、この基礎あって初めて育成されるものと存じます。

弊社は今回右の見地に立って、剰余金の一部をさき、厚生省並びに朝日新聞厚生文化事業団の御後援を得て、保健衛生施策向上のために、別記要綱による保健文化賞を設定することと致しました。

御承知の通り、弊社においては、生命保険事業が社会公共性をその本質としている点にかんがみ、去る昭和9年には結核予防のために剰余金の一部をもって保生会を創立し、保生会館及び保生園等の治療施設を設立致しましたが、今回の保健文化賞設定もまた同一趣旨に出るものであります。幸いに、大方の御賛同を賜ることを得ますれば、今後ともこの種事業には格別の意を用いたいと念願致している次第であります。

ここに、保健文化賞設定の趣意を開陳して御支援を懇請するとともに、弊社今回のささやかな意図が、一般保健思想及び施設の向上にいささかなりとも寄与することができますれば、望外のしあわせと存ずる次第であります。

昭和 25 年 1 月

第一生命保険相互会社

取締役社長 矢 野 一 郎

保健文化賞受賞者の業績

(敬称略) (最近5年間)

団体



個人



第 74 回

(2022年度 賞金総額2,500万円)

受賞者名	都道府県	業績	賞金(万円)
埼玉骨髄バンク推進連絡会	埼玉県	1989年に結成され、現在の日本骨髄バンク設立に寄与し、以降は、埼玉県内のドナー登録会時の説明員の派遣や調整を担い、また医療相談会等のイベントを通じて、ドナー登録拡大に貢献している。	200
一般社団法人 OVAL HEART JAPAN	東京都	東日本大震災後に発症した生活不活発発病の予防活動として、運動器症候群に配慮した歩行プログラムの普及に努めるとともに、同プログラムは介護予防にも適応できるため指導者を養成し、全国各地に活動の輪を広げる歩行運動の普及に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ	東京都	日本の医療の中に、シャイン・オン!キッズが心のケアの提供をプラスすることで、子ども達が入院中でも笑顔で過ごす事ができるようになるとともに、コロナ禍でも中断することのないケアの提供により、病気の子ども達に勇気と希望を与える活動を通じて、病気の子ども達のQOLの向上に貢献している。	200
公益社団法人 立川助産師会	神奈川県	神奈川県で初めて助産師職能団体による会立助産院を設立し、地域の母子保健に携わる助産師のブラッシュアップや後輩育成に尽力するとともに、地域の医療機関とも密に連携を取り、産後ケアの質の向上などに貢献している。	200
咽頭摘出者福祉団体 長野県信鈴会	長野県	発声機能を失った咽頭摘出者に対し、50年以上にわたり、代用音声による発声技法の習得を目指した発声訓練講習会を開催するとともに、同講習会は咽頭摘出者にとって、発声訓練が慰問と激励の場ともなっており、咽頭摘出者の福祉の向上に貢献している。	200
津具口コモ予防体操教室	愛知県	住民主導による津具口コモ予防体操教室は、高齢化が進展する山間地域において、十年にわたる活発な活動を継続し、住民達の知恵と努力、地域保健関係者の支援を結集させ、地域の高齢者の健康づくりや地域活動の活性化に貢献している。	200
ナールプラ座	愛知県	多様な構成員が、長年にわたり性の健康を幅広く伝える性教育に取り組むことによる、いのちと人権を守り育てる活動を通じて、学校等との連携を重視した包括的性教育の発展に貢献している。	200
公益社団法人大阪府看護協会	大阪府	大阪府看護協会は、全国に先駆けコロナに対応する看護職員の確保・研修、宿泊療養施設の運営等に取り組み、本会がその活動を全国に伝えたことで、多くの県看護協会の取組みが一層強化され、必要な医療の確保に繋がる国民の生命・健康維持に貢献している。	200
HBG 重度・重複障害児 スポ・レク活動教室 「はなまるキッズ」	広島県	身体及び知的にも最重度の障害を有し、医療的ケアを必要とする子供も対象とした、国内外でも例のないアダプテッド・スポーツ(障害等に合わせたルール、用具、指導法等を独自に考案・工夫したスポーツ)教室を15年間、定期的に開催するとともに、障害者スポーツ指導者養成に貢献している。	200
障害学生パートナーシップ ネットワーク 附属 熊本県発達障害当事者 Little bit	熊本県	障害に捉われず多様な行政・団体との連携を広げ、協働に発展させ、発達障害を含めた多様な人々が地域で活躍する場を増やし、一人ひとりの「できること」を引き出す「対話力」を備えた社会づくりに貢献している。	200
豊嶋 崇徳	北海道	唾液中の新型コロナウイルスの存在に気づき、その後、産官民一体で極めて短期間のうちに唾液検査法を確立し、コロナ対策を大きく進歩させ、唾液検査の普及に貢献している。	100
今 明 秀	青森県	一人救急医として活動し、医師・看護師・消防・市民の教育を通じて、稀有な救急医療体制を作りあげるとともに、移動緊急手術室の開発を通じて、絶望的だったへき地の心肺停止症例を社会復帰に導き、また外傷診療体制の質の向上に貢献している。	100
五十嵐 千代	埼玉県	わが国の産業保健分野の保健師等の産業保健看護職の育成を通じて、産業保健及び産業看護を発展させ、東京を拠点に働く人の自殺対策を含むメンタルヘルス対策や地域の人への健康支援に貢献している。	100
松 平 浩	東京都	従来の人間工学的対策だけでなく、心理社会的要因への対策の必要性について先駆的かつ一貫した研究を実施し、労働災害が増加傾向にある第三次産業での腰痛をはじめとする筋骨格系疾患の予防・改善に貢献している。	100
下 浦 佳之	兵庫県	国内で頻繁に発生する災害に対し、栄養と食事に関する被災地支援のスキームと体制の構築及び平時における防災体制の総合的な整備活動によって、誰一人取り残さない災害支援システムの構築に貢献している。	100

※都道府県は受賞時点の団体所在地・個人居住地

受賞者名	都道府県	業績	賞金(万円)
特定非営利活動法人 3 k e y s	東京都	虐待・育児放棄・貧困等で頼れる大人のいない子どもたちの支えとして、児童養護施設等での学習支援に始まり、孤立した子どもたち向けの相談事業や啓発事業を展開し、子どもたちの精神面を含めた課題解決に貢献している。	200
特定非営利活動法人 F i n e	東京都	不妊当事者のさまざまな負担を軽減するために、不妊がより正しく社会全体に理解され、不妊に関わるすべてのことが、ごくありふれた普通のこととなるよう社会を変える活動に長年にわたり貢献している。	200
特定非営利活動法人 適な排尿をめざす 全国ネットの 全会	京都府	排尿問題に悩む一人でも多くの方を救うため、多職種と連携し、地域医療のみならず全国の患者のための適切な医療の提供とともに、身近な排尿問題を年齢で諦めることのないよう、啓発活動に尽力し、QOLの向上に貢献している。	200
大阪府立大学大学院 看護学研究科 セクシュアリティ プロジェクト 教育ト	大阪府	保健医療・教育・福祉の専門家による多職種連携体制を構築し、長年にわたり43万人の高校生を対象に、出張性教育授業、講演、性教育の教材開発などを行い、思春期の子どもたちの心身の健康支援・福祉に貢献している。	200
(認定)特定非営利活動法人 プール・ボランティア	大阪府	障がい者が、障がいの程度に係わらずプールを楽しめるよう、長年にわたり工夫を重ね活動を継続し、専門家のみならず、一般ボランティアを多く受け入れ、市民プールで健常者と共に泳ぐことで、地域での理解の推進に貢献している。	200
特定非営利活動法人 アイヘル コア ト	香川県	主に重度の障がい者を有する人に対して安心して過ごせる日中活動の場を提供するとともに、地域の福祉拠点として様々な活動を通し、助け合いながら明るい協働社会を創っていくことや未来を背負う子どもたちの健全な育成活動への参加の機会を提供に貢献している。	200
一般社団法人 長崎県薬剤師 会	長崎県	医療資源が乏しい五島列島において、住民の医薬品の使用実態調査で判明した「薬剤師が存在しない」二次離島の現状に対して、定期的な「お薬説明・相談会」を実施し、住民の医薬品適正使用や健康増進の向上に貢献している。	200
一般社団法人 別府市医師 会	大分県	ゆけむり医療ネットは地域医療・保健・福祉を連携する医療連携ネットワークで高度医療の理解と詳細な患者説明が可能となり疾病管理による重症化予防、重複した検査や処方防止等、地域医療の効率化に貢献している。	200
特定非営利活動法人 メッシュ・サポ ート	沖縄県	島々で抱える医療過疎や医師の過重労働に関する問題解決のため、医療用航空機（ヘリコプター・飛行機）による患者搬送・医師派遣を通して、離島医療の問題改善に貢献している。	200
須藤英毅	北海道	側弯症学校検診の確実な実施に向けた啓蒙活動と側弯症を早期に発見し支援に繋げていく環境整備を幅広く実施することで、重症化を予防する先制医療等による小児保健衛生の向上に貢献している。	100
金子鮎子	東京都	長期に働くことが困難とされている精神障がい者を長年にわたり働く人として育成・雇用し、そのノウハウを発信して、雇用施策を促し、障がい者の働く権利の拡大を通して、就業による共生社会の実現に貢献している。	100
石渡千代	神奈川県	地域の管理栄養士・国際薬膳師として活動し、食を通して人を幸せにするための活動を対象者の視点に立って、楽しんで取り組めるように工夫し、県民市民の健康増進活動の推進に貢献している。	100
市川恵子	神奈川県	母子保健に携わる事業に長きに尽力し、助産院・訪問看護ステーションを開設し母子への健康を守り、横浜市助産師会の会長・神奈川県助産師会副会長を歴任し、地域及び後輩の育成に貢献している。	100
比嘉政昭	沖縄県	BCG接種の集団接種方式から個別化への移行にあたり市町村や医師会に対して研修や評価を行い、地域婦人会の活動を援助して結核予防の普及啓発に貢献している。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金(万円)
社会福祉法人 グリーンローズ	秋田県	乳幼児期のことばの発達に支援を要する子どもとその家族への相談・支援事業、並びに障害のある子ども達も共に保育・教育を受けられる環境づくりに貢献している。	200
公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ I N T O K Y O	東京都	多数の医療者や企業から協力を得て重症児や希少難病児の支援に特化している唯一性の高い団体であり、経済的基盤も不安定な若い家族を支援し、彼らの QOL を高めて社会的孤立を阻止することに貢献している。	200
特定非営利活動法人 モンキーマジック	東京都	クライミングというスポーツを障害者が楽しめる環境を創るのみにとどまらず、健常者も一緒に参加し楽しめる環境を広げることに貢献している。	200
静岡県在宅保健師の会 「つつつじの会」	静岡県	長年に亘り、豊富な経験と知見を活かして、住民と対話し、地域を観察する家庭訪問は、市町と住民を繋ぐ架け橋となっており、静岡県の健康寿命の延伸に貢献している。	200
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府	無料低額診療事業の目的に沿って、独自に「生活困窮者支援事業」(なでしこプラン)を創設し、同会の複数病院が協力して、生活困窮者が多く居住する地域への「出かける検診事業」を実施し、疾病予防と健康の増進に貢献した。	200
特定非営利活動法人 認知症の人とみんなの サポートセンター	大阪府	若年性認知症の方への支援団体は、全国的にもほとんどない中、先駆的に取り組みを行い、特に、診断前や診断後初期に利用できる社会資源が少ない中、週4回活動できる取組みを行い、若年性認知症の居場所作りに貢献している。	200
特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク	兵庫県	役員をはじめ運営委員会等の委員は無償協力であり、臍帯血を病院から搬送するスタッフなど、多くのボランティアや県民、ライオンズクラブ等からの協力を得て運営されており、全国の着実な臍帯血の提供に貢献している。	200
健康で安心して住める 花栗振興会	島根県	行政に頼らず住民が自主的に健康で安心して暮らせる地域づくりを計画・実践しており、高齢化率は高水準だが、地域の活動への参加率も高く、他地区の模範と成り得る団体であり、地域版の健康づくり活動計画の策定に貢献している。	200
特定非営利活動法人 みよしサポート協会びあぞら	徳島県	社会的課題であるひきこもり対策において、対象者別の仕組みでは対応できないような複合的なニーズに、ピアサポートの力を活用し柔軟に対応し、関係機関と連携のもと、切れ目のない支援に貢献している。	200
高知県骨髄バンク推進協議会	高知県	日本骨髄バンクが設立された翌年の1992年から活動を開始し、ドナーを募る登録会を長年にわたって実施しており、高知県民に向けた骨髄バンクの普及啓発に貢献している。	200
増田 靖子	北海道	現実のニーズをしっかりと把握した上で、草の根レベルの地道な活動を継続し、同病の患者・家族の閉じたサークルではなく、難病患者が広く連携・連帯し、お互いの問題を解決して行く枠組み作りに貢献している。	100
田中 志子	群馬県	病棟では、身体拘束ゼロ医療・ケア、地域では、認知症の人の見守りネットワークや買い物支援など、認知症の人の尊厳を守り、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりに貢献している。	100
大 淵 修一	埼玉県	介護予防の必要性を早期から訴え、介護予防に関する研究・介護予防システムの構築に尽力し、介護分野で理学療法士が活躍する契機を作り、また予防を中心とした地域づくりに貢献した。	100
秋 山 正子	東京都	訪問看護・在宅ケア、暮らしの保健室、マギーズ東京など、27年間に渡り無私な精神で患者・家族を支え続け、地域密着の経験知を講演・執筆等で広く伝え、全国の実践向上に貢献している。	100
池 川 志郎	東京都	骨・関節系統の難病、遺伝病、生活習慣病に関する専門医かつ基礎研究者として、疾患の原因解明、適切な医療の普及、患者支援体制の整備、人材育成、関係コミュニティの連携支援を通じて、広く患者の福祉に貢献した。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金(万円)
一般社団法人 仙台市薬剤師会	宮城県	薬と健康に関する啓発を長年実施したほか、薬局によるハートヘルスプラザ事業を展開し、市民の健康増進や認知症・うつ病の早期対応等、幅広い分野で健康づくりに取り組み、市民の健康寿命の延伸に貢献している。	200
福島県食生活改善 推進連絡協議会	福島県	地域の健康課題や社会情勢に応じた食生活改善の活動を通じて、乳児から高齢者まで幅広い世代を対象とした食育を推進し、県民の健康的な食生活に対する意識や健康水準の向上に貢献している。	200
NPO アレルギー児を支える 全国ネット「アラジーポット」	東京都	医療現場のみならず社会一般にアレルギー疾患に対する正しい知識を普及させることを目的に活動を続け、患者と医療関係者などが対等のパートナーとしてアレルギー疾患治療の現状を改善していく道筋を切り拓くことに貢献している。	200
特定非営利活動法人 T A B L E F O R T W O International	東京都	先進国の人々と、開発途上国の子どもたちが食を分かち合うという仕組みを提唱し、開発途上国の栄養状態改善や教育機会整備、先進国では健康増進や肥満防止に貢献している。	200
いしかわ骨髄バンク推進・ は と の 会	石川県	平成2年の設立以来骨髄移植のドナー登録増進を図るため、職域での集団登録会や献血ルームでの受付・説明、啓発のための語り部講演会、映画・芝居の上演、マスコミへのPRなどをボランティアで続け、骨髄移植の啓発に貢献している。	200
公益社団法人 鳥取県看護協会	鳥取県	職能団体としてその専門性を活かし、学校に向向いてのいのちの教育や、思春期相談等を行政や関係機関と連携し、15年間に亘り継続して行い、全国ワースト1位であった10代の人工妊娠中絶率の低下に大きく貢献している。	200
益田の医療を守る 市民の会	島根県	市民・医療機関・市議会・行政が一体となり、市民が安心して医療を受け暮らせるように益田市の医療を充実させていこうという気運を醸成し、多くの市民に医療や健康に関心をもたせることに貢献している。	200
特定非営利活動法人 癒し憩いネットワーク	福岡県	写真や動画を用いた“癒し・憩い”のコンテンツを制作し、美しい画像の数々を無償で送り、患者やそのご家族などの人生の質（Quality Of Life）の向上に貢献している。	200
NPO 法人熊本 DARC	熊本県	薬物など依存症対策に真摯に向き合い当事者家族に対し伴走型支援を実践し、熊本地震では最大被災地の益城町に入りアルコール依存等に悩み苦しむ本人や家族に寄り添い、こころのケアに貢献している。	200
一般社団法人 沖縄県助産師会	沖縄県	行政との連携により、有床助産所運営、沖縄県女性健康支援センター事業、思春期性教育、離島の巡回妊婦健診、若年妊産婦の居場所事業、産前産後ケア事業受託等、多岐にわたって地域の母子保健事業に貢献している。	200
向 山 秀 樹	神奈川県	地域に在住する外国人家族と地域住民の架け橋となり、自らの診療所の開放や、22カ国外国人問診表を作成し、全国に無料で配布した。また、重い病気を抱えた家族の海外移住には、日本と同等の治療ができるように努力するなど、海外での治療の道の開拓に貢献している。	100
植 松 潤 治	滋賀県	医師として障害児者医療への研究・治療を実践し、近年は在宅障害児者医療を積極的に推進した。さらには滋賀県障害児者と父母の会の活動を通して福祉環境整備に貢献している。	100
埜 田 和 史	滋賀県	過重な負担による手話通訳者の頸肩腕障害発症を発見し、長きに渡り相談・検診や追跡調査に邁進する傍ら、全国各地で講師活動を続け、手話通訳者の健康を守るルールを普及させ、手話通訳者の健康管理制度の構築に貢献している。	100
足 立 光 平	兵庫県	地域住民の健診・検査データ・パーソナルヘルスデータを一元化し、それらを個人同意の下、必要に応じ供覧することで、いつでもどこでも、良質な保健医療福祉サービスを受けられるシステムの構築・維持・発展に貢献している。	100
岡 本 新 悟	奈良県	バングラデシュの無医村に病院を設立した他、マンゴー園を建設し医療費を払えない患者の援助とした。また、身寄りのない寡婦の為にホームを建設し、生活の糧が得られる枠組を構築する等、バングラデシュの医療と福祉の充実に貢献した。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金(万円)
北里第一三共ワクチン株式会社	埼玉県	感染症で苦しんでいるベトナムの子どもたちを救うため、難易度の高いワクチンの製造技術協力を実施することにより、ベトナムの安全かつ信頼度の高いワクチンの自国製造と安定的な供給を可能にし、ベトナムでの感染症の蔓延防止に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 アトピッチ地球の子ネットワーク	東京都	食物アレルギーやアトピーの患者や家族を対象として、電話相談や交流会を開催するとともに、ボランティアの養成や、個別活動団体のネットワーク化を図ることにより企業や医療機関との連携強化等に取り組み、患者等の支援に貢献している。	200
特定非営利活動法人 途上国の精神保健を支えるネットワーク SUMH Supporters for Mental Health	東京都	内戦の経験からPTSD等の精神障害を有している住民が精神科サービスの提供を受けられないカンボジアに、日本から医師等のスタッフを派遣し、精神科外来診療やデイケアの提供、現地職員への研修等を行うことにより、カンボジアの精神保健医療水準の向上に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 ファミリーハウス	東京都	難病小児と家族のための滞在施設を病院の近くに設立・運営するとともに、医療関係者とも連携し、患者・家族の精神的、経済的負担を軽減し安心・安全な闘病生活を支援している。また、全国の滞在施設の運営者のネットワークを構築し、各地域での医療環境の向上に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 三重いのちの電話協会	三重県	深刻な悩みや心配事を持つ人たちに、365日無休で電話相談を行うことにより心の支えになっている。また、いのちの電話を県民に普及啓発するためのパンフレット等の配布や、電話相談員のスキルアップを図るための養成研修等を行い、三重県の自殺予防対策に貢献している。	200
特定非営利活動法人 そらいろプロジェクト京都	京都府	発達障害等の子供たちのために、自宅での訪問ヘアカットなどを行い、障害の特性に応じ段階的にヘアカットに慣らししていく活動を行うとともに、全国で講演等を通じ、賛同する理・美容院を増やす啓発活動を行うことにより、美容の面からバリアフリー社会の構築に貢献している。	200
特定非営利活動法人 インターナショナル	兵庫県	食物アレルギーや宗教戒律により食べられないものがある人が安心して食事ができるよう、食品表示コミュニケーションツールである「フードピクト」を開発し、飲食店や国際会議を開催するホテル等に広く普及させることにより、食に制約のある人が安心して暮らせる社会づくりに貢献している。	200
西部在宅ケア研究会	鳥取県	鳥取県の西部医療圏において在宅ケアに関わる医師、歯科医師、薬剤師等の多職種が集まり定例研究会を行っている。本研究会では単なる講演だけでなく、グループディスカッションも実施しながら、医療、介護、行政などの連携強化を図ることにより、地域の医療介護に貢献している。	200
うすき石仏ねっと運営協議会	大分県	市、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、介護施設等の代表で構成された団体で、地域共通番号を格納した「石仏カード」を発行し、各連携機関と医療や介護の情報を共有することにより、病気の早期発見、重症化予防等、健康寿命の延伸等に寄与し、地域全体の健康福祉の向上に貢献している。	200
公益社団法人 会 鹿児島県助産師会	鹿児島県	離島からの出産待機の間としての宿泊型妊産婦ケアセンター及び当助産師会立の助産院において、継続的かつ個別的なケアを実践することで、安心安全で満足度の高い出産や育児等を支援している。また、鹿児島県内の小学校等への出前講座や助産師の質向上の研修など広く母子保健の向上に貢献している。	200
加藤 昌志	愛知県	バン格拉デシュ等の途上国における飲用井戸水の浄化材の開発、浄化の実践等を大学生らのボランティアと協同で実施した。また、東日本大震災後のがれき木材の焼却を、独自の浄化材を用いて有害元素の拡散を防ぐ開発活動を進め、国内外の環境汚染に起因した疾患の発症予防に貢献している。	100
星 合 昊	大阪府	体外受精の多数胚移植による多胎妊娠等の防止のため、単一胚移植の原則を確立し、安全な出産の普及に尽力し現在の不妊症治療の礎を築いた。また、大阪府の不妊相談窓口設置や不妊治療助成の基準策定等、不妊対策事業に対する指導助言を行い、大阪府の少子化対策に貢献した。	100
新庄 幸子	兵庫県	カウンセラーとして、難病の患者・家族の支え合いを促す自立的な患者活動の基礎を築いた。また、ボランティアとして難病患者・障害者・HIVやAIDS患者等への支援等を継続することにより、自助・互助・共助・公助を包括した支援のあり方の提示に貢献している。	100
山根 俊 恵	山口県	山口大学大学院教授の傍ら、看護師として、精神障害者やひきこもり者等の支援のためのNPO法人を立ち上げ、居場所の確保、地域におけるリハビリテーション体制づくり、社会的偏見の払拭、共生のまちづくりを目指し地域に貢献している。	100
松田 晋 哉	福岡県	公衆衛生学の研究者として、包括医療費支払制度(DPC)の開発とそれを用いた臨床研究・政策科学研究への応用、地域医療構想及び地域医療計画の策定に活用されているデータブックの作成等を行うことにより、医療介護情報の基盤整備とその活用体制の推進に貢献している。	100

受賞者地域別一覧表

(敬称略)

団体



個人



〈北海道〉

団体25・個人14

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
北海道立衛生研究所	1954	社団法人北海道医師会	1990
井上善十郎	1954	社団法人札幌歯科医師会 口腔医療センター	1991
市立函館保健所	1958	社団法人北海道衛生団体連合会	1991
竹内武夫	1959	札幌市衛生研究所	1992
高橋房次	1960	熊本悦明	1999
北海道山部村衛生組合	1964	塚本隆三	2001
笠井義男	1964	社会福祉法人浦河べてるの家	2003
北海道美瑛町	1965	北海道八雲町	2003
北海道赤十字血液センター	1966	北海道砂原町	2004
北海道大樹町	1969	北海道立衛生研究所	2005
女満別衛生協会	1970	門屋充郎	2006
若松地区健康グループ	1977	千葉峻三	2007
北海道別海町	1978	小林博	2008
財団法人北海道対がん協会	1978	北海道食生活改善推進員団体連絡協議会	2010
石倉肇	1979	公益社団法人北海道家庭生活 総合カウンセリングセンター	2015
旭川精神衛生協会	1980	一般社団法人札幌市医師会	2016
北海道鷹栖町	1981	増田靖子	2020
北海道中標津町	1982	須藤英毅	2021
札幌市医師会夜間急病センター	1985	豊嶋崇徳	2022
荒川巖	1989		

〈青森〉

団体6・個人7

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
鳴海康仲	1959	秋元とく	1963
青森県八戸市学校歯科医会	1961	花田ミキ	1973
小野定男	1962	青森県尾上町	1983

〈青森〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
青森県南郷村	1984	青森県食生活改善推進員会 青連絡協議	2002
佐々木直亮	1986	平田恵美子	2003
青森県佐井村	1995	今明秀	2022
青森県六戸町	1997		

〈岩手〉

団体12・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
岩手県沢内村	1963	岩手県湯田町	1983
岩手県葛巻町	1966	岩手県遠野市	1993
岩手県矢巾町	1968	増田進	1995
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 岩手県済生会岩泉病院	1970	将基面誠	1996
岩手県江刺市	1974	岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	1997
岩手県地域医療研究会	1975	中村好和	2002
岩手県新里村	1979	橋本勢津	2005
岩手県浄法寺町	1982	岩手県岩手町	2006

〈宮城〉

団体20・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
宮城県丸森町	1952	登米地区地域医療対策委員会	1987
宮城県豊里町	1955	宮城県食生活改善推進員連絡協議会	1988
宮城県角田町	1956	東北六県防疫研究会	1992
古賀良彦	1958	社団法人宮城県看護協会	1993
近藤正二	1962	宮城県特定疾患・遷延性意識障害者 治療研究協議会	1996
財団法人宮城県対がん協会	1963	宮城県B型肝炎母子感染防止協議会	1996
宮城県衛生研究所	1966	社団法人仙台歯科医師会	1998
宮城県更生育成医療整形外科指定医協議会	1970	宮城県心筋梗塞対策協議会	1999
宮城県宮黒保健所	1972	社団法人仙台市医師会	2000
海老名敏明	1978	沼崎義夫	2002
宮城県地域医療対策協議会	1980	宮城県神経難病医療連絡協議会	2007

〈宮城〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
伊藤 祝子	2011	一般社団法人震災こころのケア・ネットワーク みやぎ	2015
渡辺 彰	2013	一般社団法人仙台市薬剤師会	2019

〈秋田〉

団体9・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
秋田県西目村	1964	児島 三郎	1987
財団法人結核予防会 秋田県支部結核予防婦人会県連合会	1968	秋田県河辺町	1993
黒丸 五郎	1970	秋田県神岡町	1995
秋田県井川村	1972	林 雅人	2000
秋田県大雄村	1976	秋田県東成瀬村	2014
秋田県上郷健康センター	1980	社会福祉法人グリーンローズ	2020

〈山形〉

団体7・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
山形県寒河江保健所	1957	山形県衛生研究所	1991
志田 周子	1959	社団法人山形県食品衛生協会	1993
宇留野 勝弥	1960	山形県食生活改善推進協議会	1994
寒河江市西村山郡医師会	1979	山形県最上町	1996
山形県高島町衛生組合連合会	1983	眞田 知彰	1998

〈福島〉

団体13・個人5

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
郡山保健所	1955	岩 永 幾太郎	1972
常磐炭礦株式会社磐城礦業所	1956	福島県二本松保健所	1974
太田 辰雄	1961	福島県大越町保健会連合会	1975
福島県保原保健所	1962	福島県原町保健所	1980
福島県平保健所	1966	福島県浅川町保健協力員会	1984
福島県地区衛生組織連合会	1969	社団法人福島県食品衛生協会	1985
福島県安達町	1970	今 泉 亀 撤	2007

〈福島〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
相澤 興一	2009	福島県総合療育センター歯科協力会	2015
吉田 圭治	2012	福島県食生活改善推進連絡協議会	2019

〈茨城〉

団体16・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
茨城県七郷村	1951	社団法人茨城県栄養士会	1998
加納 保之	1956	茨城県食生活改善推進団体連絡協議会	2000
木村 猛明	1960	社団法人茨城県食品衛生協会	2001
潮田 きよ	1964	平 間 敬 文	2005
茨城県緒川村	1968	社団法人水戸市医師会	2006
茨城県古河市	1969	野田学区コミュニティ「さわやかな野田をつくる会」	2009
茨城県茨城町	1982	茨城県産婦人科医会	2012
社団法人茨城県歯科医師会	1985	特定非営利活動法人ウイメンズネット「らいず」	2014
茨城県協和町	1986	社会福祉法人茨城いのちの電話	2015
茨城県岩瀬町	1988	公益財団法人いばらき腎臓財団	2017

〈栃木〉

団体8・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
栃木県宇都宮市	1958	社団法人栃木県歯科医師会	1977
栃木県足利市	1963	栃木県石橋町	1984
栃木県鹿沼市	1967	遠 藤 昌 一	2000
社団法人栃木県食品衛生協会	1969	社会福祉法人栃木いのちの電話	2001
福 山 博	1971	とちぎ思春期研究会	2013

〈群馬〉

団体11・個人8

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
群馬県宮城村	1960	社団法人群馬県医師会	1968
柴 田 正 名	1961	桐生市衛生組合連合会	1971
群馬県利根沼田新生会	1963	沢 井 芳 男	1974

〈群馬〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
群馬県上野村	1979	社団法人群馬県助産師会	2009
社団法人群馬県歯科医師会	1989	鈴木基司	2009
小林茂信	1990	池田優子	2012
高崎市学校保健会	1994	北村邦夫	2014
群馬県食生活改善推進員連絡協議会	1996	小笠原一夫	2017
社団法人前橋市医師会	1997	田中志子	2020
群馬郡医師会	2002		

〈埼玉〉

団体16・個人10

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
埼玉県東吾野村	1953	丸林葉子	2000
所沢保健所	1956	社団法人埼玉県断酒新生会	2001
高石幸三郎	1957	埼玉県糖尿病協会	2002
田島基	1965	埼玉県医師会がん集団検診医会	2003
横関五郎	1967	埼玉県小鹿野町	2004
川越市芳野地区母子愛育班	1969	大谷貴子	2008
小宮義孝	1971	特定非営利活動法人会 埼玉子どもを虐待から守る会	2009
社団法人埼玉県筋ジストロフィー協会	1978	一般財団法人東厚生会	2014
羽生市千代田地区健康文化委員会	1979	飯嶋幸久	2014
埼玉県戸田市立健康管理センター	1986	北里第一三共ワクチン株式会社	2018
社団法人やどかりの里	1988	大淵修一	2020
埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会	1992	埼玉骨髓バンク推進連絡会	2022
宮崎和	1999	五十嵐千代	2022

〈千葉〉

団体8・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
千葉県中川村	1953	社団法人千葉県医師会	1994
花岡和夫	1955	高臣武史	1994
社団法人安房医師会	1986	寺田一郎	2001

〈千葉〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
浅井 邦彦	2005	一般社団法人 市川市医師会	2012
社団法人千葉県歯科医師会	2006	特定非営利活動法人 スマイルクラブ	2012
特定非営利活動法人ホームレス自立支援会 市川ガソリンバの	2009	千葉県食生活改善協議会	2013
工藤 翔二	2011	丸山 博	2014

〈東京〉

団体100・個人114

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
結核予防会及び日本学術振興会 学術部第八小委員会	1949	栗山 重信	1956
寺尾 殿治	1949	渡部 求	1956
三田村 篤志郎	1949	西原 脩三	1956
財団法人日本ペニシリン協会及び 財団法人日本ペニシリン学術協議会	1950	日本栄養化学株式会社	1957
林 芳信	1950	平野 ミドリ	1957
岡隈 部治英 道雄	1950	パラチオン中毒治療研究班	1958
恩賜財団母子愛育会	1951	東京都監察医務院	1958
杉並保健所	1951	田沢 鎌二	1958
尼子 富士郎	1951	河村 郁	1958
平井 雅恵	1952	竹内 剛	1958
高木 憲次	1952	小島 三郎	1958
千葉 保之	1952	小山 武夫	1958
三上 チヨ	1953	東京都立衛生研究所	1959
酒井 谷平	1953	遠藤 繁清	1959
三宅 敏一	1953	大森 憲太	1959
佐伯 矩	1954	三共株式会社 高峰研究所	1960
株式会社日映科学映画製作所	1955	千葉 たつ	1960
七島熱調査研究委員会	1955	草間 偉	1960
奥野 徹	1955	暉峻 義等	1960
久慈 直太郎	1955	永井 亨	1960
株式会社保健同人社	1956	山田 忠治	1960
社団法人日本水道協会	1956	東京都市場衛生検査所	1961

〈東京〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
らい研究協議会	1961	近藤六郎	1969
社会福祉法人白十字会	1961	増淵一正	1969
郡山アヤ	1961	春日忠善	1969
亀谷了	1961	丹下坂宇良	1970
関根真一	1961	川崎幸槌	1971
田村剛	1962	小池文英	1971
小川辰次	1962	小林提樹	1971
内山圭梧	1962	中村文彌	1971
吉田ますみ	1963	岡西順二郎	1972
近藤宏二	1963	浅川婦人会	1973
金子準二	1963	社団法人大気汚染研究全国協議会	1973
広瀬孝六郎	1963	佐藤彦次郎	1975
鯉沼茆吾	1964	野村實	1975
野辺地慶三	1964	稗田正虎	1975
木下正一	1965	鈴木平三郎	1976
小野基樹	1965	酒井好道	1977
森山豊	1966	国井長次郎	1978
上田揆一	1966	辺野喜正夫	1978
斎藤潔	1966	財団法人全国精神障害者家族連合会	1980
笠原四郎	1966	難波政士	1980
東京都食肉衛生検査所	1967	財団法人脳性マヒ児を守る会	1981
内藤寿七郎	1967	社団法人渋谷区医師会附属予防接種センター	1981
小島嘉男	1967	佐藤智	1981
岩崎龍郎	1967	五味二郎	1981
東京都渋谷保健所	1968	吉岡武雄	1982
田中シン	1968	岩戸武雄	1983
児玉威	1968	増田陸郎	1983
矢嶋良一	1968	武藤静子	1983
渡邊モトエ	1969	社団法人日本てんかん協会	1984

〈東京〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
島尾忠男	1984	成田稔	1993
測上在彌	1984	アルコール依存症リハビリテーションセンター『みのわマック』	1994
社団法人全日本断酒連盟	1985	青木正和	1994
財団法人母子衛生研究会	1985	西岡久壽彌	1994
大西基四夫	1985	社団法人日本医療福祉建築協会	1995
財団法人東京都がん検診センター	1986	財団法人日本環境整備教育センター	1995
社会福祉法人いのちの電話	1986	坂元正一	1995
橋本正己	1986	財団法人日本食生活協会	1996
藤永數江	1986	シェア＝国際保健協力市民の会	1997
社団法人日本キリスト教海外医療協力会	1987	日本コンチネンス協会	1997
東義国	1987	大倉興司	1997
あけほの会	1988	河合忠	1997
円城寺進	1988	平山宗宏	1997
川崎富作	1988	社会福祉法人全国盲ろう者協会	1998
社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会	1989	社団法人日本筋ジストロフィー協会	1998
平山雄	1989	社団法人日本糖尿病協会	1998
社団法人銀鈴会	1990	生活の発見会	1998
財団法人日本国際医療団	1990	東京都精神障害者家族会連合会	1998
社団法人日本リウマチ友の会	1990	吉住五郎	1998
社会福祉法人ときわ会	1991	A M D A 国際医療情報センター	1999
稀少難病者全国連合会(あせび会)	1991	社団法人日本オストミー協会	1999
財団法人ビル管理教育センター	1992	財団法人日本眼球銀行協会	1999
財団法人国民栄養協会	1992	財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	1999
財団法人日本寄生虫予防会	1992	川村緑	1999
東京英語いのちの電話	1992	財団法人厚生統計協会	2000
社団法人調布市医師会	1993	財団法人国際医療技術交流財団	2000
社会福祉法人全日本精神薄弱者育成会	1993	日本障害者協議会	2000
日本心臓ペースメーカー友の会	1993	特定非営利活動法人全国市町村保健活動協議会	2001
特殊ミルク共同安全開発委員会	1993	財団法人日本精神衛生会	2002

〈東京〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
社団法人東京都歯科医師会	2002	特定非営利活動法人えきぼうのい	2014
社団法人日本食品衛生協会	2003	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン	2014
山下 武 子	2003	公益社団法人日本助産師会	2015
財団法人がんの子供を守る会	2004	特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会	2015
佐々木 正 美	2004	福 地 義 之 助	2015
特定非営利活動法人東京難病団体連絡協議会	2005	小 林 典 子	2016
ホスピスケア研究会	2005	樋 野 興 夫	2016
ツインマザーズクラブ	2006	認定特定非営利活動法人トジヤパシアンハー	2017
鈴木 健 一	2006	特定非営利活動法人女性ネット Saya-Saya	2017
財団法人国際開発救済財団	2007	公益社団法人会全国結核予防婦人団体連絡協議会	2017
社団法人東京都看護協会(助産師職能委員会)	2007	佐 藤 加 代 子	2017
石 川 信 克	2007	武 藤 芳 照	2017
社団法人葛飾区歯科医師会	2008	認定特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク	2018
全国心臓病の子どもを守る会	2008	特定非営利活動法人 途上国の精神保健を支えるネットワークSUMH Supporters for Mental Health	2018
特定非営利活動法人難病のこども支援全国ネットワーク	2008	認定特定非営利活動法人ファミリーハウス	2018
日本組織移植学会 東日本組織移植ネットワーク 西日本組織移植ネットワーク	2008	NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」	2019
高 野 健 人	2008	特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International	2019
徳 永 瑞 子	2008	公益社団法人ア・ドリームア・デイ IN TOKYO	2020
森 亨	2009	特定非営利活動法人 モンキーマジック	2020
特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN	2010	秋 山 正 子	2020
坂 本 元 子	2010	池 川 志 郎	2020
公益財団法人 工 益 予 防 財 団	2012	特定非営利活動法人 3 k e y s	2021
特定非営利活動法人 特 骨 形 成 不 全 症 協 会	2012	特定非営利活動法人 F i n e	2021
社団法人 福 祉 法 人 日 本 心 身 障 害 児 協 会 島 田 療 育 セ ン タ ー	2012	金 子 鮎 子	2021
公益財団法人 公 益 財 団 日 本 リ ウ マ チ 財 団	2012	一 般 社 団 法 人 O V A L H E A R T J A P A N	2022
齋 藤 友 紀 雄	2012	認定特定非営利活動法人 シヤイン・オイン・キッズ	2022
公益社団法人 公 益 社 団 東 京 都 薬 剤 法 師 会	2013	松 平 浩	2022

〈神奈川〉

団体35・個人20

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
神奈川県衛生研究所	1952	横浜市衛生研究所	1985
神奈川県高部屋村	1954	社団法人神奈川県精神病院協会	1989
神奈川県小田原市	1956	横浜市健康週間実行委員会	1989
安住 武 八	1956	松 本 清 一	1989
田 辺 一 雄	1957	財団法人神奈川県予防医学協会	1990
米 元 晋 一	1957	神奈川県立精神保健センター	1991
篠 田 淳 三	1958	川崎市リハビリテーション医療センター	1992
堀 江 勝 巳	1961	岡 上 和 雄	1993
川崎市高津保健所	1962	社団法人神奈川県医師会	1994
神奈川県小田原保健所	1963	神奈川県精神障害者家族会連合会	1995
榊 原 勇 吉	1963	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会	1996
村 山 午 朔	1964	社団法人横浜市歯科医師会	1996
湯 楨 ま す	1966	神奈川県精神保健ボランティア連絡協議会	1998
川崎市中央保健所	1967	社団法人横浜市医師会	1998
川崎市中原保健所	1969	横浜市食生活等改善推進員協議会	1998
刈 米 達 夫	1970	藤 城 崑 美	1998
神奈川県食生活改善グループ連絡協議会	1971	財団法人神奈川県児童医療福祉財団 小児療育相談センター	2000
社団法人神奈川県歯科医師会	1973	行 天 良 雄	2003
横浜市磯子区医師会	1974	ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト	2008
神奈川県乳質改善事業協会	1974	川崎病の子供をもつ親の会	2010
須 川 豊	1975	特定非営利活動法人多言語社会リソース かながわ(M I C かながわ)	2015
山 下 章	1975	特定非営利活動法人 アレルギーを考える母の会	2017
横浜市鶴見区保健計画会議会 横浜市鶴見区自治連合会	1976	宮 下 美 代 子	2017
斎 藤 一	1977	向 山 秀 樹	2019
社団法人横浜市西区医療センター	1981	石 渡 千 代	2021
社団法人川崎市医師会	1981	市 川 恵 子	2021
神奈川県精神衛生協会	1982	公益社団法人神奈川県助産師会立院 と わ 助 産 院	2022
神奈川県公衆衛生協会	1983		

〈新潟〉

団体21・個人8

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
新潟県佐々木村	1952	新潟県京ヶ瀬村	1987
新潟県衛生研究所	1953	新潟県食生活改善推進委員協議会	1989
新潟県新潟市	1955	社団法人新潟県栄養士会	1995
荻野久作	1955	新潟県藤楓協会	1996
上越肺ジストマ対策委員会	1957	堺 薫	1996
新潟県津川保健所	1961	石田良平	1997
清水亨策	1961	川室優	1998
新潟県亀田町公衆衛生協会	1963	財団法人新潟県成人病予防協会	1999
新潟県巻保健所	1965	新潟県守門村	2000
新潟県食品衛生協会	1967	新潟県紫雲寺町	2002
新潟県住みよい郷土建設協会	1972	服部 晃	2004
篠川 至	1975	新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座予防歯科学分野	2007
社団法人新潟県歯科医師会	1981	日本歯科大学新潟病院 在宅歯科往診ヶアチム	2011
渡辺 宏	1982	新潟県西蒲原郡弥彦村	2012
社団法人新潟県医師会	1986		

〈富山〉

団体7・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
飛見 丈 繁	1952	富山県朝日町	1979
斎藤 俊彦	1953	富山県食品衛生協会	1980
越山 健二	1972	富山県歯科医師会	1982
富山県入善町	1974	富山県食生活改善推進連絡協議会	1984
富山県福光町	1975	富山県魚津市	1990

〈石川〉

団体9・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
石川 県	1949	石川県金沢市	1957
泉 仙助	1954	中川 幸庵	1959
戸田 正二	1955	石川県松任保健所	1967

〈石川〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
北陸小児糖尿病サマーキャンプ運営委員会	1986	石川県歯科医師会 口腔衛生センター	2011
社団法人金沢こころの電話	1991	特定非営利活動法人 いのちにやさしいまちづくりほほぼねっと	2015
石川県食生活改善推進協議会	1999	いしかわ骨髄バンク推進・はとの会	2019

〈福井〉

団体8・個人1

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
福井県上中町	1959	福井県南条町	1977
福井県福井市	1961	福井県食生活改善推進員連絡協議会	1997
福井県鯖江保健所	1964	地域精神保健福祉業務連絡会	2006
福井県今庄町保健衛生協議会	1967	西川京子	2010
福井県武生市	1970		

〈山梨〉

団体8・個人5

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
山梨県源村母子愛育会	1950	小宮山幸子	1980
杉浦三郎	1951	社団法人山梨県看護協会	1991
小野徹	1952	山梨県愛育連合会	1996
綱脇龍妙	1953	山梨県食生活改善推進員連絡協議会	2005
武藤昌知	1965	IFMSA-Japan (国際医学生連盟・日本)	2007
山梨県小笠原保健所地区厚生連合会	1973	公益社団法人 認知症の人と家族の会 山梨県支部 (あした葉の会)	2011
白根町母子愛育会連合会	1977		

〈長野〉

団体22・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
長野県芋井村環境衛生運営委員会	1953	正木俊二	1960
長野県諏訪市	1955	結核予防婦人会長野県連合会	1962
長野県阿智村	1957	長野県須坂市	1969
長野県飯田市	1959	若月俊一	1970
更埴市八幡衛生推進会	1960	長野県佐久市	1976

〈長野〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
社団法人長野県歯科医師会	1981	りんどう会	1997
社団法人長野県食品衛生協会	1982	社団法人佐久歯科医師会	2001
長野県朝日村健康村建設活動推進協議会	1985	松島松翠	2002
長野県上郷町	1987	社団法人松本市歯科医師会	2003
社団法人長野県栄養士会	1987	長野県茅野市	2005
長野県大桑村	1989	飯伊地区包括医療協議会	2008
長野県食生活改善推進協議会	1990	夏川周介	2010
長野県口腔衛生協会	1994	咽頭摘出者福祉団体 長野県信鈴会	2022

〈岐阜〉

団体14・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
岐阜県岐阜市	1953	岐阜県川島町	1977
松尾国松	1953	平田町食生活改善協議会	1981
岐阜県東白川村	1965	岐阜県高鷲村	1986
岐阜県和良村	1968	岐阜県国府町	1988
岐阜県白川町	1971	岐阜県山岡町	1994
岐阜県可児郡医療協議会	1972	岐阜県中津川市	1997
須田圭三	1973	岐阜県食生活改善推進員協議会	2009
岐阜県明方村婦人会	1974	岐阜県高山市	2016

〈静岡〉

団体15・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
佐野連	1951	鈴木眞一郎	1972
清水製薬株式会社	1954	静岡県藤枝市	1973
井深八重子	1955	静岡県小笠町	1977
財団法人神山復生病院	1958	伊藤久次	1979
静岡県結核予防婦人会	1963	社団法人静岡県食品衛生協会	1986
静岡市食品衛生協会	1964	社会福祉法人天竜厚生会	2004
静岡県三ヶ日保健所	1968	財団法人静岡県腎臓バンク	2007

〈静岡〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
レシャードカレッド	2009	静岡県健康づくり食生活推進協議会	2014
静岡県小山町	2010	米山武義	2014
小山ライオンズクラブ	2011	静岡県在宅保健師の会「つつじ会」	2020
浜松外国人医療援助会	2011		

〈愛知〉

団体21・個人10

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
愛知県立中村病院	1955	伊藤春夫	1996
愛知県幸田町	1956	青木國雄	1997
浅賀ふさ	1957	愛知県衛生研究所	2002
愛知県三好町	1962	財団法人愛知腎臓財団	2002
愛知県中央健康相談所	1965	半田市健康づくり連絡協議会	2004
深谷義雄	1966	特定非営利活動法人日本口唇口蓋裂協会	2006
千田嘉八	1968	特定非営利活動法人愛知視覚障害者援護促進協議会	2008
瀬木三雄	1974	愛知県東浦町	2010
愛知県常滑市	1977	A G U D A A - V - フィリピン	2010
名古屋市衛生研究所	1978	夏目長門	2012
岡田博	1978	特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク	2014
碧南市健康を守る会	1980	愛知県食生活改善推進員連絡協議会	2016
財団法人名古屋公衆医学研究所	1991	加藤昌志	2018
財団法人アジア保健研修財団	1991	津具ロコモ予防体操教室	2022
社団法人愛知県歯科医師会	1995	ナーベルプラ座	2022
岩塚徹	1995		

〈三重〉

団体7・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
中川市郎	1959	三重県志摩町	1983
中村實	1977	三重県栄養改善推進連絡協議会	1987
社団法人三重県歯科医師会	1980	社団法人三重断酒新生会	1990

〈三重〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
三重県アルコール関連疾患研究会	2010	認定特定非営利活動法人 三重県の電話協会	2018
特定非営利活動法人 MCサポートセンターみっくみえ	2011		

〈滋賀〉

団体5・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
滋賀県彦根市	1951	近江八幡市学校保健会	1996
滋賀県貴生川町	1952	藤田保	2016
松浦利次	1953	植松潤治	2019
滋賀県甲南町	1989	埴田和史	2019
滋賀県野洲町	1994		

〈京都〉

団体13・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
京都府質美村	1950	池田正之	1997
日本新薬株式会社	1951	社団法人呆け老人をかかえる家族の会	1999
小林晴治郎	1953	財団法人京都工場保健会	2000
京都府中上林村	1954	社団法人乙訓医師会	2009
豊田順爾	1957	上島弘嗣	2015
滝内政治郎	1962	公益社団法人日本国際民間協力会	2016
汚物処理対策全国協議会	1965	松林公蔵	2016
社団法人京都府歯科医師会	1983	特定非営利活動法人 そらいろプロジェクト京都	2018
京都府弥栄町	1989	特定非営利活動法人 快適な排尿をめざす全国ネットの会	2021
社団法人京都府栄養士会	1995		

〈大阪〉

団体44・個人17

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
豊中保健所	1950	大浜文子	1954
大阪府見山村	1952	村竹信常 三松	1955
吹田母子会	1954	大阪市立衛生研究所	1956

〈大阪〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
大阪府池田保健所	1959	社団法人大阪食品衛生協会	1991
武田薬品工業株式会社研究所	1959	社団法人大阪府公衆衛生協力会	1992
保良せき	1959	野田起一郎	1992
社団法人大阪精神衛生協議会	1960	財団法人母子衛生研究会大阪府支部	1994
桜井忠三	1961	財団法人大阪がん予防検診センター	1995
吉田貞雄	1962	「子どもに無煙環境を」推進協議会	1996
熊谷謙三郎	1963	小町喜男	1999
社団法人大阪府医師会	1964	児童虐待防止協会	2001
藤原九十郎	1964	岡本常男	2002
社団法人大阪府衛生婦人奉仕会	1966	大阪市食生活改善推進員協議会	2004
大阪府八尾市	1967	柏木哲夫	2004
財団法人大阪成人病予防協会	1968	和泉市児童生徒健康管理研究会	2005
社団法人大阪府歯科医師会	1969	地域がん登録全国協議会	2005
大阪市城東保健所	1970	大阪府食生活改善連絡協議会	2006
大阪府池田市	1971	大國美智子	2008
大阪府千早赤阪村	1972	岡本榮一	2009
大阪府東成母子会	1974	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会老人施設部会	2010
大阪府太子町	1974	小倉剛	2012
大阪歯科大学救ライ奉仕団	1975	社会福祉法人愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター	2013
大阪府立公衆衛生研究所	1976	一般社団法人大阪府医師会	2016
大阪府吹田保健所	1978	川村孝	2016
大阪府赤十字血液センター	1981	星合昊	2018
大阪公衆衛生協会	1982	社会福祉法人会 恩賜財団済生会支部 大阪府済生会	2020
門真市衛生婦人奉仕会	1984	特定非営利活動法人認知症の人とみんなのサポートセンター	2020
大阪府立万代診療所	1987	大阪府立大学大学院看護学研究科 セクシュアリティ教育プロジェクト	2021
社団法人大阪府断酒会	1988	(認定)特定非営利活動法人 プール・ボランティア	2021
大阪府箕面市	1990	公益社団法人大阪府看護協会	2022
深井孝之助	1990		

〈兵庫〉

団体15・個人17

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
清水源吉	1956	兵庫県五色町	1988
森下薫	1957	社団法人尼崎市医師会	1988
間島良二	1961	伊藤利根太郎	1988
兵庫県番町地区 麻薬覚せい剤撲滅運動協議会	1962	社団法人兵庫県歯科医師会	1992
兵庫県柏原村	1964	荒尾素次	2003
堀道紀	1970	N P O 法人兵庫県断酒会	2004
兵庫県山南町	1971	森田ゆり	2005
西宮市環境衛生協議会	1972	青井立夫	2006
成田敬太郎	1974	塩見聡	2013
社団法人姫路市医師会	1976	佐用町南光歯科保健センター	2016
柏木大治	1977	一般社団法人兵庫県難病団体連絡協議会	2016
喜田村正次	1979	特定非営利活動法人インターナショナル	2018
兵庫県いずみ会	1982	新庄幸子	2018
中島さつき	1982	足立光平	2019
社団法人加古川市加古郡医師会	1985	特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンク	2020
池脇政子	1986	下浦佳之	2022

〈奈良〉

団体3・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
奈良県生駒保健所	1976	柏木知臣	2004
社団法人奈良県歯科医師会	1987	坂谷光則	2013
社会福祉法人奈良「いのちの電話」協会	1994	岡本新悟	2019
藤本伊三郎	1998		

〈和歌山〉

団体7

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
和歌山県高野口保健所	1960	和歌山県御坊保健所事故予防研究会	2004
社団法人和歌山市医師会	1982	社会福祉法人太陽福社会	2006
麦の郷	1995	和歌山県難病の子ども家族会	2017
社会福祉法人やおき福社会	2003		

〈鳥取〉

団体16・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
米子保健所	1953	樋口田鶴	1975
鳥取県福部村	1959	鳥取県大栄町	1978
鳥取県若桜町	1961	鳥取県健康対策協議会	1983
鳥取県国府町	1962	鳥取県食生活改善推進員連絡協議会	1985
鳥取県中山町	1966	鳥取県根雨保健所	1987
鳥取県会見町	1968	鳥取県日南町	1992
鳥取県岸本町	1971	武田倬	2010
鳥取県溝口町	1972	西部在宅ケア研究会	2018
鳥取県大山町	1973	公益社団法人鳥取県看護協会	2019

〈島根〉

団体24

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
島根県西郷中学校少年協力会	1953	島根県出雲保健所	1991
島根県佐田村	1958	社団法人島根県断酒新生会	1995
島根県加茂町	1960	社会福祉法人島根整肢学園 西部島根心身障害医療福祉センター	1997
島根県石見町	1964	島根県海士町役場	1999
島根県斐川町	1965	安来能義地域糖尿病管理協議会	2010
島根県三隅町	1967	健康ますだ市21推進協議会	2012
島根県東出雲町	1973	出雲の精神保健と精神障害者の福祉を支援する会	2013
島根県八雲村	1975	社会福祉法人島根いのちの電話	2014
島根県宍道町	1977	鳥根県食生活改善推進協議会	2015
島根県多伎町	1980	鳥根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」	2017
島根県横田町	1982	益田の医療を守る市民の会	2019
島根県八束町	1985	健康で安心して住める花栗振興会	2020

〈岡山〉

団体26・個人10

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
岡山県野谷村	1950	岡と山も県え落新合生町会	1955
岡山県小田町	1954	田部浩	1955

〈岡山〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
井上謙	1956	岡山県西粟倉村	1982
杉本嘉三郎	1958	岡山県邑久町	1984
岡山大学医学部耳鼻科教室 ベター・ヒヤリング・クリニック	1960	岡山県総社市	1989
岡山県美星町	1961	岡山精神保健推進委員会	1993
岡山県清音村	1962	アジア医師連絡協議会	1994
岡山県愛育委員連合会	1964	上妻昭典	1994
岡山県環境衛生協議会	1966	社会福祉法人浦安荘	1997
高島重孝	1966	岡山県川上町	1998
岡山県山陽町	1969	江草安彦	2001
瀬戸内海巡回診療船「済生丸」診療班	1972	守谷欣明	2001
岡山県栄養改善協議会	1973	山本昌知	2004
岡山県奈義町	1975	社団法人岡山県医師会	2005
岡山県真庭郡地域保健委員会	1976	山本泰久	2007
社団法人岡山県新見医師会	1978	大森文太郎	2011
岡山県食品衛生協会	1979	社会福祉法人岡山いのちの電話協会	2014
社会福祉法人岡山かなりや学園	1981	一般社団法人御津医師会	2017

〈広島〉

団体18・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
広島県	1954	社団法人安佐医師会	1991
財団法人広島原爆障害対策協議会	1957	広島県沼隈町	1995
広島県吉舎町	1959	社団法人広島県医師会	1996
藤井實	1962	放射線被曝者医療国際協力推進協議会	1996
社団法人広島県地区衛生組織連合会	1965	社団法人広島県栄養士会	1997
澤崎嘉衛	1971	社団法人広島県精神保健協会	2000
広島県地域保健対策協議会	1977	社団法人尾道市医師会	2007
広島県因島市	1983	広島県安芸太田町	2007
広島県歯科衛生連絡協議会	1984	大久野島毒ガス傷害研究会	2011
広島県御調町	1985	伊藤千賀子	2015
青木秀信	1986	HBG 重度・重複障害児スポ・レク活動教室 「はなまるキッズ」	2022

〈山口〉

団体10・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
徳山保健所	1954	山口県徳山市	1985
山口県阿武町	1973	野瀬善勝	1987
山口県川上村	1978	山口県むつみ村	1991
社団法人山口県歯科医師会	1979	山口県食生活改善推進協議会	1993
荒川二六郎	1980	大西力	1998
山口県三隅町	1981	山口県宇部市	2008
山口県菊川町	1983	山根俊恵	2018

〈徳島〉

団体4・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
徳島県勝浦町	1966	馬原文彦	2011
社団法人徳島県食品衛生協会	1988	圓井美貴子	2014
社会福祉法人徳島県自殺予防協会	2009	特定非営利活動法人みよしサポートぴあぞら	2020

〈香川〉

団体5・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
琴平保健所	1949	香川県食生活改善推進連絡協議会	1995
野島泰治	1951	山本文子	2007
香川県平井保健所管内保健委員会連合会	1958	社団法人香川県看護協会 健全母性育成事業推進委員会	2009
佐藤フキエ	1972	特定非営利活動法人アイルコート	2021

〈愛媛〉

団体12・個人1

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
竹内一郎	1951	社団法人愛媛県歯科医師会	1986
愛媛県広見町	1972	社団法人松山市医師会	1989
愛媛県川内町母子衛生実践会	1975	愛媛県産婦人科医会	1993
愛媛県吉田町	1979	愛媛県立衛生研究所	1996
愛媛県伊方町	1980	愛媛県精神保健福祉協会	2013
愛媛県地域保健対策協議会	1984	南宇和障害者の社会参加を進める会	2016
愛媛県保健栄養推進連絡協議会	1986		

〈高知〉

団体8・個人8

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
高知県	1954	社団法人高知県食品衛生協会	1984
島崎孝彦	1958	尾木文之介	1989
岩崎基	1963	疋田善平	1995
下司孝磨	1973	沖義郎	1996
和井兼尾	1976	社団法人高知県断酒新生会	1999
上村聖恵	1978	高知県食生活改善推進協議会	2007
高知県野市町	1979	高知県精神保健福祉協会	2010
高知県梶原町	1981	高知県骨髓バンク推進協議会	2020

〈福岡〉

団体16・個人10

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
福岡市警固小学校内科校医団	1956	福岡市民糖尿病教室	2001
福岡県志摩村	1958	北九州市食生活改善推進員協議会	2003
檜林篤三	1959	医療法人財団恵愛会	2004
石西進	1960	熊谷孝三	2005
遠城寺宗徳	1969	福岡県久山町	2006
戸田忠雄	1970	中村裕一	2007
福岡県医師会視聴覚研究所	1976	福田眼科病院離島診療チーム	2009
福岡県脳卒中予防協会	1978	社団法人宗像医師会 宗像医師会訪問看護ステーション	2011
福岡県久山町	1983	大牟田市介護サービス事業者協議会	2013
林与吉郎	1985	荒巻初子	2013
福岡県衛生公害センター	1990	矢津剛	2017
医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	1994	松田晋哉	2018
福岡市学校精神保健協議会	1997	特定非営利活動法人癒し憩いネットワーク	2019

〈佐賀〉

団体6・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
三菱鉱業株式会社古賀山礦業所	1957	佐賀県食生活改善推進協議会	1992
佐賀県諸富町	1970	社団法人佐賀県栄養士会	1993
山口弘雄	1972	かわそえネットワーク	2009
社団法人佐賀県尚和会唐津胃研究所	1975	香月武	2011

〈長崎〉

団体15・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
長崎市中心保健所	1952	長崎県食生活改善推進連絡協議会	2001
長崎県長浦村	1957	社会福祉法人幸生会	2003
財団法人長崎原子爆弾被爆者対策協議会	1965	佐世保市運動普及推進協議会	2006
川崎菊一	1976	木場武	2006
長崎県離島医療圏組合	1988	長崎県ATLウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会	2011
社団法人長崎県食品衛生協会	1989	認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット	2014
社団法人長崎市医師会	1995	NPO法人食支援ネットワーク・長崎嚙下リハビリテーション研究会	2016
社団法人長崎県歯科医師会	1997	近藤達郎	2017
長崎・ヒバクシャ医療国際協力会	2000	一般社団法人長崎県薬剤師会	2021

〈熊本〉

団体20・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
エレナ・パラジ	1952	友田政和	1992
琵琶崎待労病院	1960	社団法人熊本県歯科医師会	1993
栃原義人	1964	財団法人熊本県学校保健会	1993
熊本県富合村	1967	熊本県蘇陽町	1994
熊本大学医学部水俣病研究班	1970	社団法人熊本県精神障害者福祉会連合会	1994
熊本県松橋保健所	1971	熊本市保健医療専門団体連合会	1998
熊本県健康を守る婦人の会	1973	社団法人熊本県精神保健福祉協会	2001
志賀一親	1976	日本赤十字社熊本健康管理センター	2002
阿蘇町栄養改善実践協議会	1983	有明地域保健医療福祉連携協議会	2004
熊丸茂	1991	渡辺賢治	2006

〈熊本〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
社団法人熊本県精神科病院協会	2007	熊本小児在宅ケア・人工呼吸療法研究会	2012
熊本県食生活改善推進員連絡協議会	2008	N P O 法人熊本 D A R C	2019
社会福祉法人 玉医会	2008	障害学生パートナーシップネットワーク付属 熊本県発達障害当事者会 Little bit	2022

〈大分〉

団体8・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
高 安 慎 一	1957	湯布院厚生年金病院	2005
社団法人大分県医師会	1979	一般社団法人大分県医師会	2013
社団法人大分市医師会	1987	柳 澤 繁 孝	2015
大分県食生活改善推進協議会	1991	うすき石仏ねっと運営協議会	2018
大分県身体障害者体育協会	1999	一般社団法人別府市医師会	2021

〈宮崎〉

団体11・個人1

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
延岡市公衆衛生推進会	1959	宮崎県国富町	1987
宮崎県佐土原町	1965	宮崎県国民健康保険団体連合会	1993
串間市保健推進協議会	1974	山下 ヤス子	2010
社会福祉法人宮日母子福祉事業団	1976	認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎	2015
宮崎県綾町	1977	特定非営利活動法人 アジア砒素ネットワーク	2016
宮崎県高城町	1984	宮崎県食生活改善推進協議会	2017

〈鹿児島〉

団体8・個人5

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
永 田 良 吉	1957	鹿児島赤十字病院	2003
鹿児島県結核予防婦人会連合会	1971	瀬戸山 史 郎	2005
社団法人鹿児島県歯科医師会	1988	社団法人鹿児島県栄養士会	2006
尾 辻 義 人	1990	吉 田 修 三	2013
社団法人鹿児島県医師会	1992	永 井 慎 昌	2015
鹿児島県食生活改善推進員連絡協議会	1998	公益社団法人鹿児島県助産師会	2018
社団法人肝属郡医師会	2001		

〈沖縄〉

団体10・個人11

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
屋 嘉 勇	1973	社 団 法 人 沖 縄 県 栄 養 士 会	2002
山 田 之 朗	1978	社 団 法 人 沖 縄 県 看 護 協 会	2003
眞 玉 橋 ノ ブ	1979	宜 保 好 彦	2003
馬 場 省 二	1981	沖 縄 ・ ラ オ ス 国 口 唇 口 蓋 裂 患 者 支 援 セ ン タ ー — 沖 縄 歯 科 口 腔 外 科 学 研 究 振 興 会 —	2005
沖 縄 県 結 核 サ ー ベ イ ラ ン ス 実 施 研 究 会	1984	知 念 正 雄	2008
犀 川 一 夫	1986	沖 縄 県 南 城 市	2011
照 屋 寛 善	1987	沖 縄 周 産 期 ネ ッ ト ワ ー ク 協 議 会	2013
社 団 法 人 沖 縄 県 歯 科 医 師 会	1990	一 般 社 団 法 人 沖 縄 県 助 産 師 会	2019
社 団 法 人 沖 縄 県 小 児 保 健 協 会	1992	特 定 非 営 利 活 動 法 人 メ ッ シ ュ ・ サ ポ ー ト	2021
三 村 悟 郎	1992	比 嘉 政 昭	2021
城 間 祥 行	2000		

受賞理由の変遷

表1 団体

第1～10回	件数	第11～20回	件数	第21～30回	件数	第31～40回	件数	第41～50回	件数	第51～60回	件数	第61～70回	件数
結核対策	17	結核対策	31	検診	33	健康教育	34	健康教育	40	地域保健・地域医療	20	地域保健・地域医療	29
環境改善	14	地区組織	26	母子保健	32	検診	31	地区組織	34	難病・障がい者保健	19	健康増進・疾病予防	14
母子保健	13	母子保健	26	結核対策	20	母子保健	27	老人保健	24	健康増進	18	難病・障がい者保健	11
寄生虫対策	12	環境改善	22	成人病対策	20	栄養改善	23	精神保健	23	精神保健	13	精神保健	11
地区組織	11	国保事業	14	地区組織	17	成人病対策	22	栄養改善	22	国際保健	9	母子保健	11
国保事業	9	上下水道	11	健康教育	15	地区組織	20	母子保健	18	歯科保健	7	高齢者保健・介護	5
保健所	9	栄養改善	11	栄養改善	15	歯科保健	19	医療従事者教育	17	母子保健	4	歯科保健	4
健康教育	7	成人病対策	10	環境改善	15	僻地医療	17	学校保健	16	食品保健	2	国際保健	4
公衆衛生	5	健康教育	10	献血事業	12	循環器	16	障がい者保健	16	感染症対策	2	感染症対策	2
上下水道	4	公衆衛生	9	僻地医療	9	老人保健	15	社会復帰	14	老人保健・介護	1	その他	2
受賞数	68		81		89		111		134		102		98

(受賞理由が複数の場合もある)

表2 個人

第1～10回	件数	第11～20回	件数	第21～30回	件数	第31～40回	件数	第41～50回	件数	第51～60回	件数	第61～70回	件数
結核対策	9	医療実践	18	結核対策	16	医療実践	9	医療従事者教育	8	地域保健・地域医療	13	地域保健・地域医療	13
ハンセン病対策	9	結核対策	14	医療従事者教育	10	健康教育	7	医療実践	7	感染症対策	7	難病・障がい者保健	8
医療実践	6	医療従事者教育	13	健康教育	9	結核対策	6	学校保健	6	精神保健	7	精神保健	7
寄生虫対策	5	健康教育	9	僻地医療	6	ハンセン病対策	5	ハンセン病対策	6	難病・障がい者保健	5	健康増進・疾病予防	4
伝染病対策	4	母子保健	7	伝染病対策	6	母子保健	5	母子保健	6	国際保健	5	感染症対策	4
母子保健	4	寄生虫対策	6	社会復帰	5	社会復帰	4	検診	5	老人保健・介護	2	高齢者保健・介護	3
基礎研究	4	学校保健	5	寄生虫対策	5	医療従事者教育	4	がん対策	4	健康増進	1	母子保健	3
上下水道	4	伝染病対策	5	精神保健	5	国際保健	4	健康教育	4	母子保健	1	国際保健	3
国保事業	3	上下水道	5	国際保健	4	検診	4	国際保健	4	学校保健	1	学校保健	2
医療品	3	基礎研究	5	看護	4	寄生虫対策	4	僻地医療	3	歯科保健	1	少子化対策	2
受賞数	60		70		52		33		37		49		51

(受賞理由が複数の場合もある)

<ご参考>

推薦協力依頼をしている関係機関および団体等抜粋

国立社会保障・人口問題研究所	日本失明予防協会
国立健康・栄養研究所	前立腺研究財団
国立感染症研究所	日本透析医会
国立保健医療科学院	日本栄養士会
医薬基盤研究所	日本調理師会
国立がん研究センター	結核予防会
国立循環器病研究センター	日本精神保健福祉連盟
国立精神・神経医療研究センター	がん研究会
国立国際医療研究センター	日本対がん協会
国立成育医療研究センター	日本腎臓財団
国立長寿医療研究センター	日本アイバンク協会
国立医薬品食品衛生研究所	日本リウマチ財団
各地方厚生局	日本糖尿病財団
放射線医学総合研究所	放射線影響研究所
東京大学医科学研究所	日本臓器移植ネットワーク
労働安全衛生総合研究所	循環器病研究振興財団
国立障害者リハビリテーションセンター	エイズ予防財団
国立病院機構	老人病研究会
日本キリスト教海外医療協力会	日本心臓財団
全日本ろうあ連盟	難病医学研究財団
日本障害者リハビリテーション協会	日本骨髄バンク
日本障がい者スポーツ協会	全国生活衛生同業組合中央会
日本筋ジストロフィー協会	日本薬剤師会
日本重症心身障害福祉協会	全国社会福祉協議会
全国肢体不自由児者父母の会連合会	骨粗鬆症財団
国際医療技術財団	日本家族計画協会
長寿科学振興財団	日本肢体不自由児協会
日本医師会	母子衛生研究会
日本歯科医師会	日本産婦人科医会
日本獣医師会	国民健康保険中央会
日本看護協会	健康保険組合連合会
日本助産師会	全国国民健康保険組合協会
日本診療放射線技師会	船員保険会
日本臨床衛生検査技師会	日本医学会
日本理学療法士協会	済生会
日本作業療法士協会	全国厚生農業協同組合連合会
日本柔道整復師会	日本学校保健会
日本鍼灸師会	日本製薬団体連合会
全日本鍼灸マッサージ師会	日本医療福祉生活協同組合連合会
日本あん摩マッサージ指圧師会	てんかん治療研究振興財団
日本歯科技工士会	神経研究所 精神神経科学センター
日本歯科衛生士会	日本健康・栄養食品協会
日本病院会	日本環境整備教育センター
全日本病院協会	日本 NPO センター
日本医療法人協会	NPO サポートセンター
日本医療ソーシャルワーカー協会	ユニバーサル志縁社会創造センター
日本公衆衛生協会	日本フィランソロピー協会
がん研究振興財団	東京ボランティア・市民活動センター
日本視能訓練士協会	大阪市ボランティア・市民活動センター
日本精神科看護協会	健康・体力づくり事業財団

※法人格等は省略させていただいております。



第74回贈呈式にて（2022年12月13日）

一生涯のパートナー

第一生命

 Dai-ichi Life Group

飯田賞候補者推薦募集要項

記

飯田賞は、故飯田卯之吉先生が永年に亘り義肢の発展のために尽くされた業績を偲んで、1981年に日本義肢装具学会に設けられ、本学会の飯田・国際協力基金によって運営されています。そして義肢・装具・リハビリテーション工学の分野ですぐれた業績をあげた方を表彰し、本賞と、奨励賞を授与するものです。対象は本学会の会員に限ります。

1 本賞

対象は個人（団体および企業の場合は代表者）とし、永年特に優れた業績をあげた者とする。

『永年』とは少なくとも10年以上の期間を指す。

『優れた業績』とは、a) 実務的業績及び臨床活動業績 b) 学問的業績 c) 社会活動貢献 d) 教育活動業績 に対する貢献を指す。

内容

- a) 日本義肢装具学会学術大会にて表彰
- b) 賞状、記念楯の授与
- c) 副賞（金10万円）授与
- d) 日本義肢装具学会学術大会にて特別講演

2 奨励賞

対象は若手研究者個人（団体および企業の場合はプロジェクト代表者）とし、少なくとも当学会の入会歴5年以上で、学問的ならびに実務的功績をあげた者、トピック的なテーマや日本義肢装具学会がより光を当てたいテーマ・独創性なども評価する。

内容

- a) 日本義肢装具学会学術大会にて表彰
- b) 賞状、記念楯の授与
- c) 副賞（金5万円）の授与

3 推薦方法

- 1) ホームページの推薦書にご記入の上、2023年5月15日（必着）までに添付、または郵送にて、下記へお送り下さい。

一般社団法人 日本義肢装具学会 学会賞・研究助成選考委員会

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-32-7 義肢会館201

TEL : 03-3812-9066 FAX : 03-3868-3201 E-mail : office@jspo.jp

- 2) 推薦に先立ち、あらかじめ候補者の同意を得て下さい。
- 3) 推薦書の書き方は記入例を参考にしてください。
- 4) 応募された書類は一切返却しません。
- 5) 飯田賞の選考に関しては一切お答えできません。

【理事会】 【その他】

1. 次回理事会の案内

日時：令和6年2月24日（土）14:00～

場所：麻生リハビリテーション大学校

資料締め切り：令和6年2月10日（土）*理事会開催の2週間前

報告事項：令和5年12月1日（金）～令和6年1月31日（水）

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した理事、監事は、次の通り署名する。

令和5年12月23日

公益社団法人 福岡県理学療法士会

副会長 廣滋 恵一

副会長 松崎 哲治

副会長 諫武 稔

副会長 遠藤 正英

専務理事 近藤 直樹

理事 佐藤 憲明

理事 田代 耕一

理事 久保田勝徳

理事 善明 雄太

理事 岡本 伸弘

理事 脇坂 成重

理事 吉田 大地

理事 平田 大勝

理事 沖原 優子

理事 齊藤 貴文

理事 岩佐 聖彦

理事 安 勇喜

理事 村上 武士

理事 永野 忍

理事 後藤 圭

理事 志田啓太郎

監事 日野 敏明

監事 田中 裕二

監事 泉 清徳